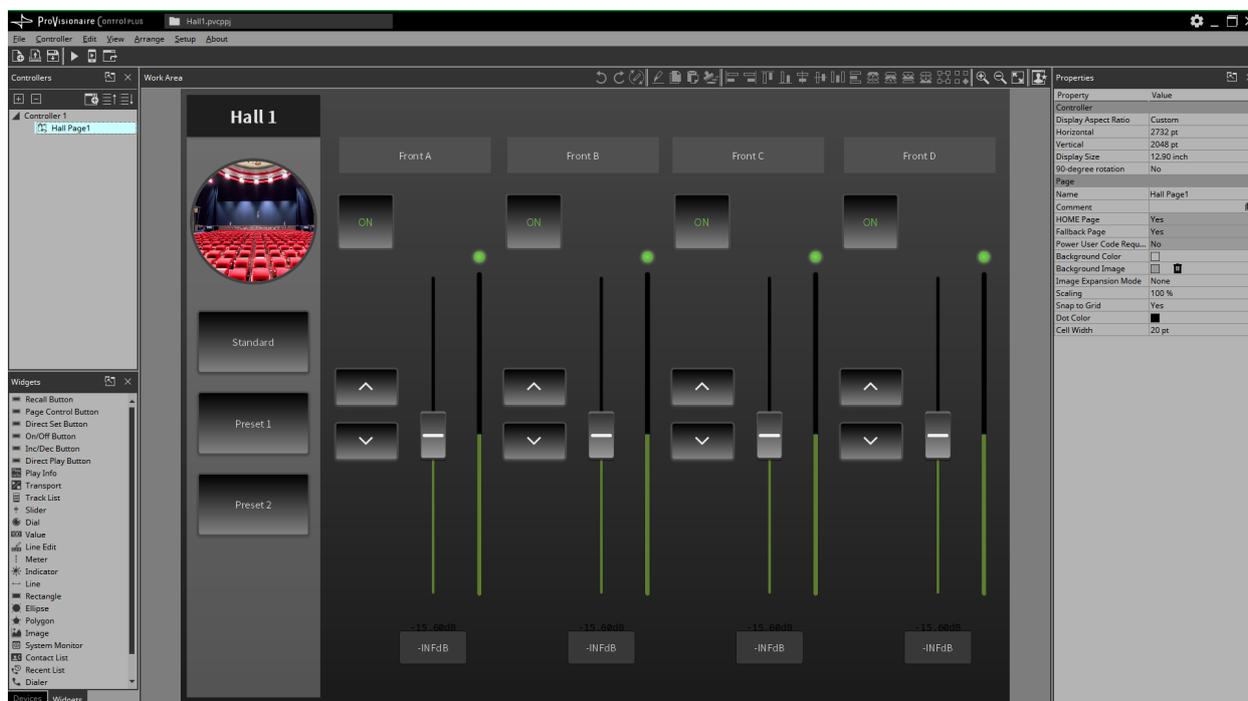


ProVisionaire Control PLUS

ユーザーガイド



目次

1. はじめに	3
1.1. ご注意	3
1.2. ProVisionaire Control PLUSでできること	4
1.2.1. ソフトウェアの動作環境	4
1.3. 理解しておく用語/概念	5
2. インストールの手順	8
3. 画面構成	9
4. 基本的なプロセス	11
4.1. 起動し、機器を登録する	11
4.2. ページにウィジェットを配置する	13
4.3. ウィジェットを識別しやすくする	16
4.4. ページを追加する	19
4.5. ページの背景を設定する	25
4.6. ウィジェットの配置を調整する	26
4.7. プロジェクトファイルを保存する	27
4.8. 動作を確認する	28
4.9. セキュリティを設定する	30
4.10. コントローラーファイルを作る	34
5. ProVisionaire Control以外のアプリからパラメーターやメーターを追加する	35
6. Custom Control Panel	36
6.1. ワークフロー	36
7. イニシャルモード特有の機能	37
8. タイトルバー	38
9. メニューバー	39
10. ツールバー	43
11. 「Controllers」エリア	44
12. 「Devices」エリア	49
13. 「Widgets」エリア	51
14. ワークエリア	52
15. 「Properties」エリア	55
15.1. ボタン	55
16. ウィジェット	56
16.1. 「ウィジェット共通の項目」	56
16.1.1. General	56
16.1.2. Control	56
16.1.3. Position/Appearance	57
16.1.4. Text	59
16.1.5. Label / Value Level	59
16.2. Recall Button	60
16.3. Page Control Button	60
16.4. Direct Set Button	61
16.5. On/Off Button	63
16.6. Inc/Dec Button	64
16.7. Direct Play Button	64
16.8. Play Info	65
16.9. Transport	65
16.10. Track List	65
16.11. Slider	65

16.12. Dial	66
16.13. Value	67
16.14. Line Edit	67
16.15. Meter	67
16.16. Indicator	67
16.17. Line	68
16.18. Rectangle / Ellipse / Polygon	68
16.19. Image	68
16.20. System Monitor	68
16.21. Contact List / Recent List / Dialer	68
16.22. SourceAndPGM / Album Art	68
17. ダイアログやウィンドウ	69
17.1. 「Setup」ダイアログ	69
17.2. 「New Project Wizard」ダイアログ	73
17.3. 「Add Controller」ダイアログ	76
17.4. 「Auto Page Change」ダイアログ	77
17.5. 「Run Controller File」ダイアログ	79
17.6. 「Select Controllers to Import」ダイアログ	80
17.7. 「Export Controller File」ダイアログ	81
17.7.1. [To Your Computer]タブ	81
17.7.2. [To ProVisionaire Kiosk]タブ	82
17.7.3. [to DME]タブ	83
17.8. 「Imported Images」ダイアログ	84
17.9. 「Add Device」ダイアログ	85
17.10. 「Target Editor」ダイアログ	86
17.11. 「Edit Text」ダイアログ	87
17.12. 「Edit Device Identifier」ダイアログ	88
17.13. 「Select Image」ダイアログ	89
17.14. 「Style」ダイアログ	91
18. Tips	92
19. 困ったときは	93

1. はじめに

このたびは、ヤマハProVisionaire Control PLUS(プロビジョナーコントロール プラス)をダウンロードいただき、ありがとうございます。

ProVisionaire Control PLUSは、オリジナルのカスタムコントロールパネルを直感的に作成できるWindows用アプリケーションソフトウェアです。スライダー、ボタン、写真などのウィジェットをページ(画面)上に配置し、制御したい機器のパラメーターをアサインすることでカスタムコントローラーをデザインできます。

コントロール専用のアプリケーションソフトウェア ProVisionaire Kiosk(*)にProVisionaire Control PLUSで作成したカスタムコントロールパネルのデザインデータを流し込むことで、オーディオプロセッサー(RM-CR)、マイクロフォン(RM-CG)、デジタルミキサー(DM7、DM3)、MusicCast対応機器などをコントロールできます。

* ProVisionaire Kioskは、WindowsおよびiPad、iPhone上で動作します。

ProVisionaire Control PLUSで作成したコントローラーファイルをDMEに転送しておく、ブラウザで外部のコンピューター等からDMEが保持しているコントローラーファイルにアクセスし、操作することができます。

ProVisionaire Control PLUSとProVisionaire Kioskを組み合わせることで、カスタムコントロールパネルの設計と制御までを迅速に実現できます。

1.1. ご注意

- ・ このソフトウェアおよびユーザーガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ このソフトウェアおよびユーザーガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよびユーザーガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このユーザーガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ iPad、iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ 商用目的で音源を使う場合、著作権にご注意ください。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- ・ 本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・ アプリケーションソフトウェアは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新のアプリケーションソフトウェアは、ヤマハプロオーディオサイトからダウンロードできます。
<https://www.yamahaproaudio.com/>

1.2. ProVisionaire Control PLUSでできること

- ページ（画面）に、直感的にスライダー、ボタン、写真などのウィジェットを配置し、設備物件内容や使用形態に応じたお客様オリジナルのコントロールパネルを作成できます。
- コントロールパネルは、複数のページで構成され、最大50ページまで追加することができます。エリア、ユーザーごとのコントロールパネルを作ったり、空間を使用するシチュエーションに応じたデザインページを作成できます。
また、コントロールパネル毎、デザインページ毎にPass Codeを設定して、アクセスを制限することができます。これにより現場での安全な運用が可能になります。
1ページには、最大1024個のウィジェットを配置できます。
- ProVisionaire Control PLUSのプロジェクトファイルは、複数のコントロールパネルのデータを持っています。そのため建物内にある複数のコントロールパネルのデータを一括で管理できます。
コントロールパネルのデータは、コントローラー単位でProVisionaire Kiosk用のファイルとしてエクスポートできます。
また、コントロールパネルのデータはDMEにもエクスポートできます。エクスポートしたデータに外部のコンピューター等からブラウザでアクセスし、操作することができます。(Custom Control Panel)
- [System Monitor]ウィジェットを配置することで、操作対象機器の稼働状況を確認することもできます。
- 操作対象機器とはWi-Fi経由でも接続できますので、タブレット端末を壁へ埋め込むだけでなく、持ち歩いて操作することで、小回りの利く便利なリモートコントローラーとして運用できます。
- ProVisionaire Kioskは、複数の主要OS(*)をサポートしているため、ProVisionaire Control PLUSで作成したコントロールパネルデータを機器のOSタイプを気にせずに活用できます。
* Windows、iOS

1.2.1. ソフトウェアの動作環境

ソフトウェアの最新バージョン、および動作環境については、下記のウェブサイトにてご確認ください。
<https://www.yamahaproaudio.com/>



お使いのコンピューターによっては、動作環境以上の条件を必要とする場合があります。

1.3. 理解しておく用語/概念

ソフトウェア

- ProVisionaire Control PLUS**
 ProVisionaire KioskをデザインするためのWindows用ソフトウェアです。本書では以降ProVisionaire Controlと表記します。
- ProVisionaire Kiosk**
 Windows/iPad/iPhoneで動作するリモートコントロールに特化したソフトウェアです。パワーユーザーやスタッフが使用します。本書では以降Kioskと表記します。
- ProVisionaire Edge**
 対応機器の稼働状況を監視するWindows用ソフトウェアです。稼働状況は[System Monitor]ウィジェットで確認できます。稼働状況を確認するためには同一ネットワーク内で1台はこのソフトウェアが稼働しているコンピューターが必要です。
- ProVisionaire Design**
 ヤマハ製品で構成される音響システムを統合的に設計するためのWindows用ソフトウェアです。信号処理コンポーネントのパラメーターをドラッグアンドドロップすることでProVisionaire Controlにアサインすることができます。

ロール

ProVisionaire Controlでは、Kioskに対して、以下のロール（役割）を設定できます。

- Administrator(管理者)**
 コントロールパネルを設計/編集する人(主に施工会社の方)。このユーザーガイドを読む人です。機能制限解除をするためのAdministrator Code(4桁)を知っています。
- Power User(パワーユーザー)**
 設備の音響責任者など。アクセス制限をかけたページへの移動や、設定ファイルの変更をするためのPower User Code(4桁)を知っています。
- Staff(スタッフ)**
 パラメーターを操作する人。スクリーンロックを解除するためのUnlock Code(4桁)を知っています。
- Guest(ゲスト)**
 訪問客など操作権限がない人。

各ロールでできることは以下となります。

	Administrator	Power User	Staff	Guest
スクリーンロック解除	-	-	✓	-
パラメーター操作	✓	✓	✓	-
コントローラーファイルの変更	✓	✓	-	-
デザインの変更	✓	-	-	-

単位

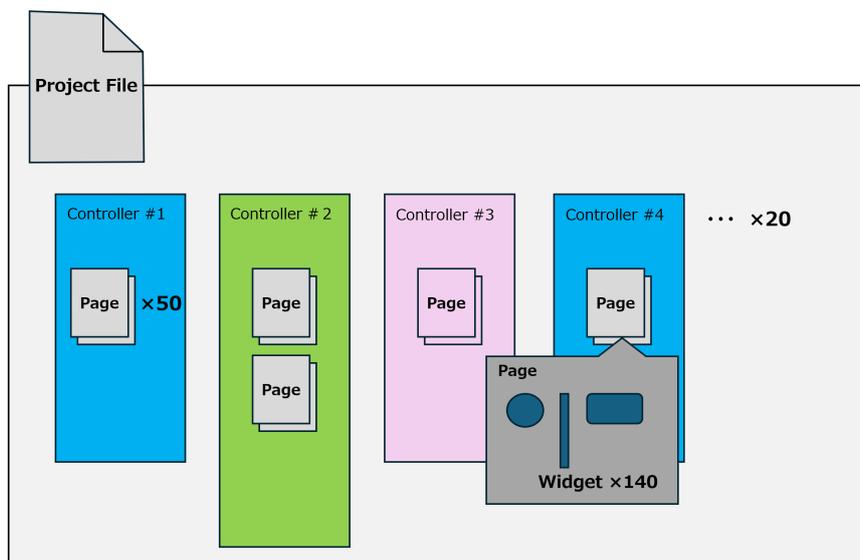
ProVisionaire Controlでは構成を考える上で以下の単位があります。

- **プロジェクト**
案件別の単位。建物全体、設備全体という単位で使します。
- **コントローラー**
Kioskで扱う単位。舞台袖、会議室、講堂などの場所別や使用者別に作成できます。1つのプロジェクトにつき20個までのコントローラーが作成できます。
- **ページ**
デバイスを制御する際の、「複数のウィジェット(ボタンやスライダーなど)から構成される画面」をページと呼んでいます。1つのコントローラーにつき50ページまで作成できます。ホームページに設定されたページがKioskでファイルを開いたときに表示されます。

ファイル

ProVisionaire Control、Kioskでは以下のファイルを使します。

- **プロジェクトファイル(拡張子.pvcppj)**
ProVisionaire Controlのすべての設定が記述されているファイル。複数のコントローラー情報やページ情報や画像、制御デバイスの情報などが記述されています。
- **スタイルファイル(拡張子.ypvcs)**
ProVisionaire Control用のスタイルを保存したファイル。主にウィジェットの見た目に関する情報が記述されています。



- **コントローラーファイル(拡張子.pvksk)**
Kiosk用の読み込み専用設定ファイル。1つのコントローラー情報や複数のページ情報、画像、制御デバイスの情報などが記述されています。

モード

ProVisionaire Controlでは以下のモードがあります。

- **Initial Mode(イニシャルモード)**
ファイルが読み込まれていないモード。このモードからファイルを読み込む操作をすることでProVisionaire ControlはDesign Modeに遷移します。
- **Design Mode(デザインモード)**
ProVisionaire Controlでコントローラー/ページの作成や編集をするためのモード。
- **Control Mode(コントロールモード)**
作成したコントローラーの動作を確認するモード。Kioskでコントローラーを起動したときのシミュレーションが可能です。

その他

このユーザーガイドでは以下の用語も使用します。

- **Widget(ウィジェット)**
スライダーやボタン、画像などのGUIパーツ。これらのパーツはデバイスのパラメーターを割り当て、フェーダーやOn/Offのパラメーターと同期させることができます。
- **Style(スタイル)**
プロジェクトファイルにおけるスタイル(ウィジェットの色や形状に関する情報)のデフォルト。ウィジェットごとにスタイルを設定できます。スタイルファイルとしてエクスポートして、他のプロジェクトでインポートすることで同じスタイルを設定できます。

2. インストールの手順

ProVisionaire Control、KioskおよびProVisionaire Edgeのインストーラーはヤマハプロオーディオサイトからダウンロードしてください。

<https://www.yamaha.com/2/provisionaire/>

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、Install_PVControlPlus.exeおよびInstall_PVKiosk.exeをダブルクリックしたあと、インストーラーに従ってインストールしてください。



Kioskからシステム内の機器の稼働情報を確認するためには、別途ProVisionaire Edgeをインストールする必要があります。



ProVisionaire Edgeの機能を使う場合、以下のパターンがあります。

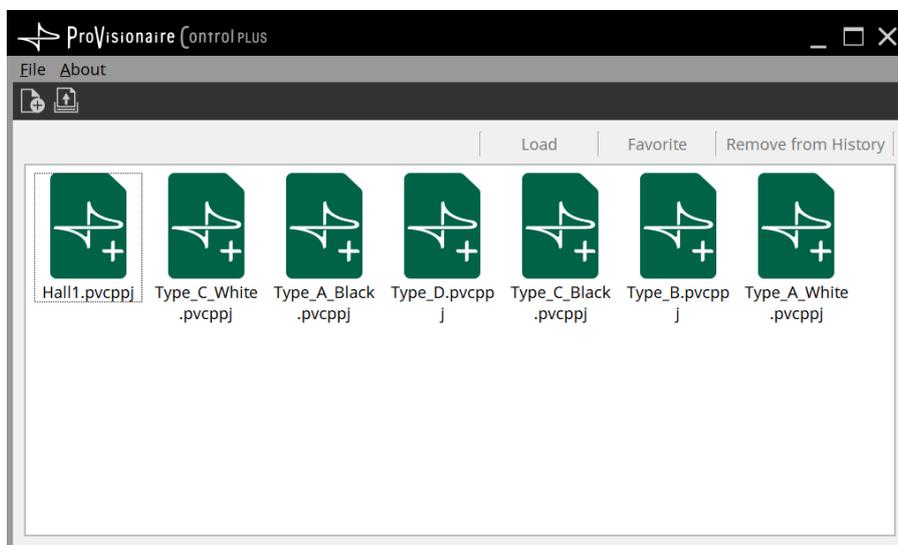
- **ProVisionaire ControlやKioskやProVisionaire Edgeのすべてを1台のコンピューターにインストールする場合**
特に意識しなくてもオンラインにして、「ProVisionaire Edge」ウィンドウを開けば、対象機器の稼働情報を確認できます。
ProVisionaire Edgeをインストールする前にPostgreSQLがインストールされている場合、PostgreSQLの登録済みスーパーユーザーのユーザー名とパスワードの入力を求められます。
- **ProVisionaire ControlやKioskのみインストールし、他のコンピューターにインストールされたProVisionaire Edgeから稼働情報を取得する場合**
「Setup」ダイアログの[Log]タブで、ProVisionaire Edgeがインストールされているコンピューターの情報を設定してください。
- **ProVisionaire Edgeのみインストールする場合**
ProVisionaire Edgeをインストールする前にPostgreSQLがインストールされている場合、PostgreSQLの登録済みスーパーユーザーのユーザー名とパスワードの入力を求められます。

3. 画面構成

イニシャルモード

ProVisionaire Controlを起動するとイニシャルモード画面が表示されます。

初回起動時には、テンプレートファイルが表示されています。コントローラの作成にお役立てください。

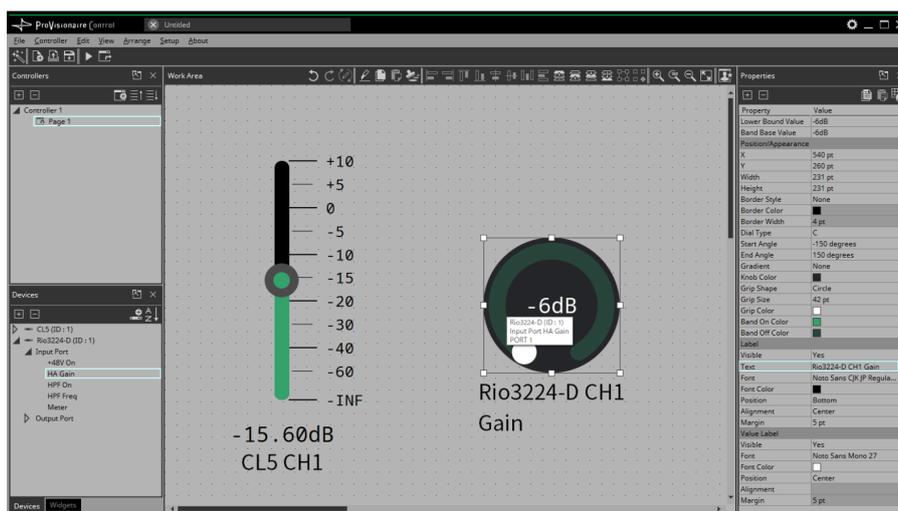


イニシャルモード画面の詳細は、「[イニシャルモード特有の機能](#)」を参照ください。

「File」メニューまたはツールバーでNew Projectを選択するか、ファイルをダブルクリックするとデザインモードに移行します。

デザインモード

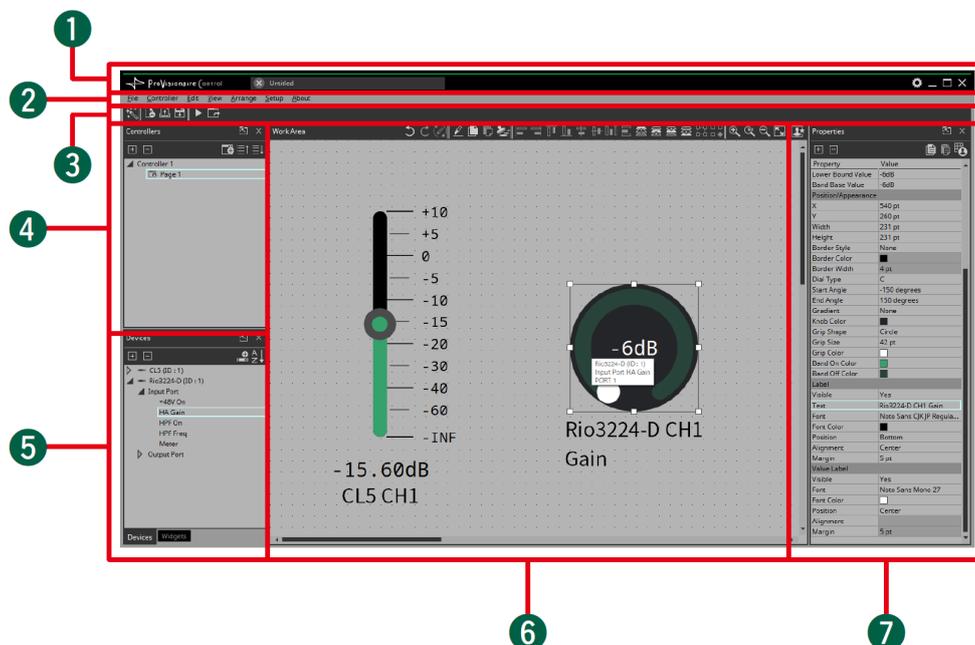
ProVisionaire Controlのデザインモードは「タイトルバー」「メニューバー」「ツールバー」「Controllersエリア」「Devicesエリア」「Widgetsエリア」「ワークエリア」「Propertiesエリア」から構成されています。



ワークエリア以外のエリアの右上にはがありますが、クリックするとエリアがフロート化(Undock)して、ワークエリアを広く使うことができます。フロート化を解除する場合は右上にあるをクリックしてください。

また、「View」メニューの[Dock All]を実行すると、すべてのエリアのフロート化が解除されます。

ワークエリアとエリアの境部分にカーソルを置くと、カーソルの形状が変わり、ドラッグすることでエリアの幅を変更できます。



①タイトルバー

プロジェクトファイル名を表示します。また、[Setup]ボタンなどを配置しています（タイトルバー）。

②メニューバー

ProVisionaire Controlで実行できるコマンドが、カテゴリーごとにまとめられています（メニューバー）。

③ツールバー

よく使うコマンドをボタンにして配置しています（ツールバー）。

④「Controllers」エリア

プロジェクトのコントローラーとページのリストです。コントローラーやページの追加もこのエリアで行います（「Controllers」エリア）。

⑤「Devices」 / 「Widgets」 エリア

「Devices」はプロジェクトで使用する機器とパラメーターのリストです（「Devices」エリア）。
「Widgets」は使用可能なウィジェットのリストです（「Widgets」エリア）。

⑥ワークエリア

「Devices」 / 「Widgets」 エリアからドラッグ&ドロップしてウィジェットの配置をするエリアです（ワークエリア）。
上部によく使う機能をボタンにしています。

⑦「Properties」エリア

現在選択されているウィジェット、ページ、コントローラー、機器の情報のリストです。クリックすることで編集できます。
内容については各エリアやウィジェットの説明ページを参照してください。

4. 基本的なプロセス

簡単なページ制作を例に、起動から機器をコントロールするまでのプロセスを解説します。今回はDM7(コンソールID=1)のインプットチャンネル1のレベルとオン/オフを配置します。

MRX7-D/DMEシリーズの場合は、この手順ではウィジェットの配置ができませんので、「[ProVisionaire Control以外のアプリからパラメーターやメーターを追加する](#)」を参照してください。

4.1. 起動し、機器を登録する

ProVisionaire Controlを起動し、コントローラーとページを作成し、制御する機器を登録しましょう。

1. **ProVisionaire Controlを起動する。**
[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]または[すべてのアプリ]→[Yamaha ProVisionaire Control PLUS]→[ProVisionaire Control PLUS Vx.x] (x.xはバージョン番号)を選択すると起動します。
2. **プロジェクトを新規に作成する場合は、[New Project]ボタン  をクリックする。**
既存のファイルを読み込む場合は、[File]メニューから[Open Project File]を選択して、読み込むファイルを選択する。
ここでは[New Project]ボタンをクリックした場合を説明します。



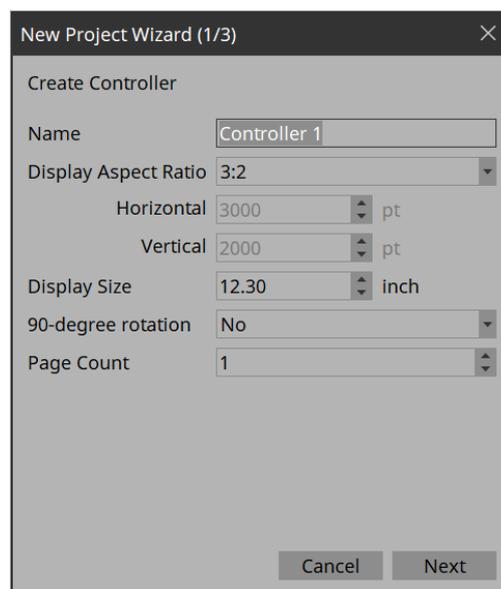
3. **「Setup」ダイアログが表示されたら、[OK]または[Cancel]をクリックする。**
ProVisionaire Controlが起動し、「New Project Wizard」ダイアログが開きます。



「Setup」ダイアログの「Network」でネットワークアダプターを選択して[OK]をクリックした場合、ProVisionaire Controlがインストールされたコンピューターをネットワークにつなげることで、機器を認識します。「Devices」エリアの該当機器を右クリックして[Add]を選択することで登録します。



ネットワークアダプターは、最大8個まで同時に選択できます。



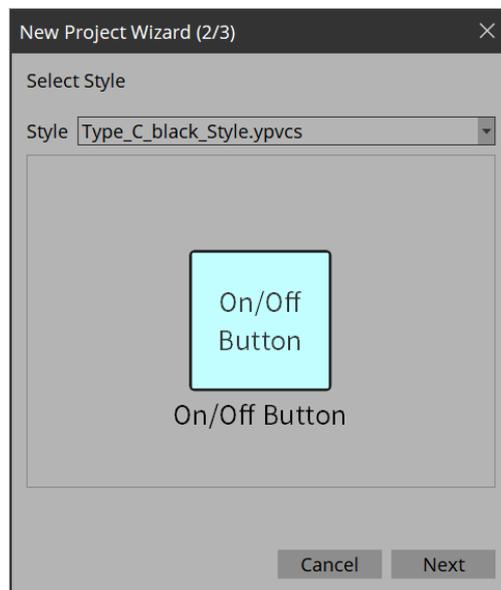
4. **コントローラーを動かす端末画面(Kioskがインストールされる施工先のコンピューターの画面)に合わせた設定をして[Next]ボタンをクリックする。**

この例では初期設定のままとします。
すべての設定は、あとでControllerのPropertiesで変更可能です。

Tips

画面のアスペクト比がわからない場合は、[3:2]を選択して、ウィジェットを配置します。
アスペクト比が確定したときに、ControllerのPropertiesで画面サイズを再設定してください。

5. コントローラ作成時に使用するStyleファイルを選択して[Next]ボタンをクリックする。



6. 以下の設定をして、[Add]ボタンをクリックする。



- **Match Device by**

Unit ID : Unit ID/Device IDをキーとして機器本体とマッチングします
IP Address : IPアドレスをキーとして機器本体とマッチングします

- **Count**

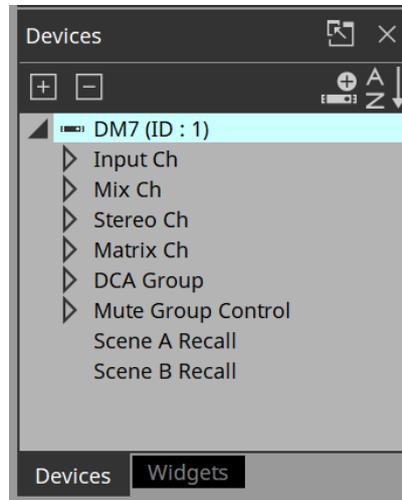
Match Device by = Unit IDの場合に、複数台数を一度に登録することができます。Unit IDを先頭とした連番で登録されます。

Unit ID=1のDM7が「Devices」エリアに追加され、ダイアログが閉じます。

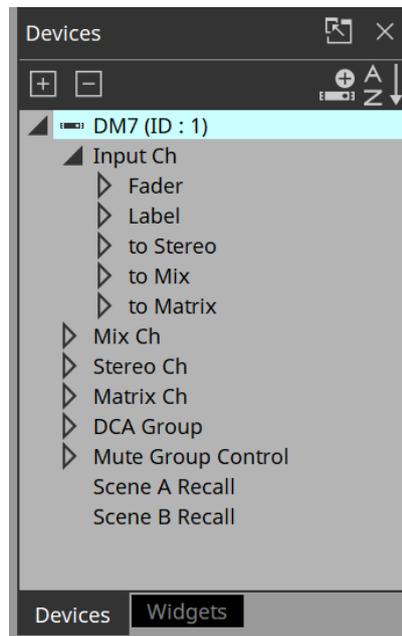
4.2. ページにウィジェットを配置する

DM7のパラメーターがコントロールできるように、ワークエリアにウィジェットを配置しましょう。ここでは、パラメーターリストからウィジェットをドラッグ&ドロップする方法を説明します。

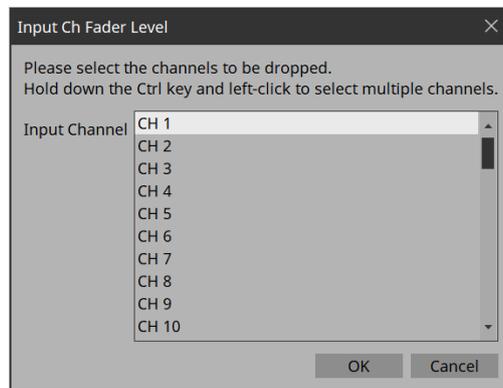
1. 「Devices」エリアの「Device List」のDM7の左側にある三角形▶をクリックする。
パラメーターグループが展開されます。



2. 配置したいパラメーターが属するパラメーターグループの左側にある三角形▶をクリックする。
パラメーターが展開されます。
今回はインプットチャンネル1のレベルとオン/オフなので[Input Ch]が対象です。



3. [Level]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。
「Input Ch Fader Level」ダイアログが開きます。



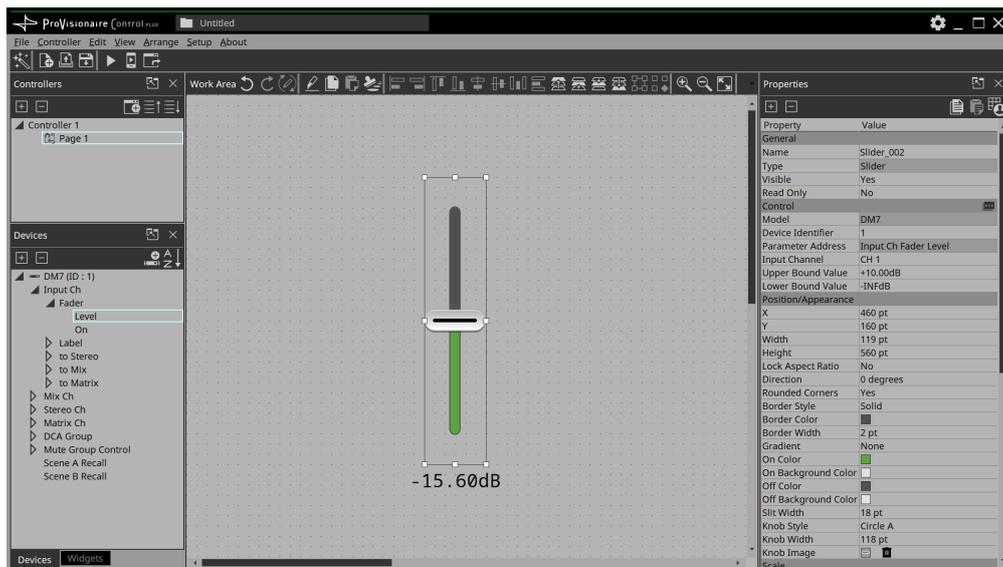
Tips

< Ctrl >キーや< Shift >キーを押しながら選択することで、複数のチャンネルを選択でき、複数のスライダーを同時に配置できます。

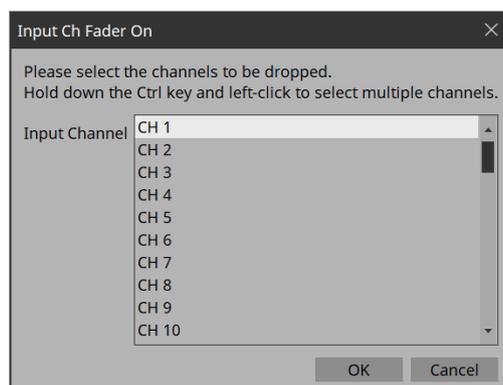
Tips

ワークエリアの空白部分にドロップすると、デフォルトのウィジェットが配置されます。配置済みのウィジェットの上にドロップすると、操作対象のパラメーターを入れ替える（ウィジェットタイプによっては追加する）ことができます。

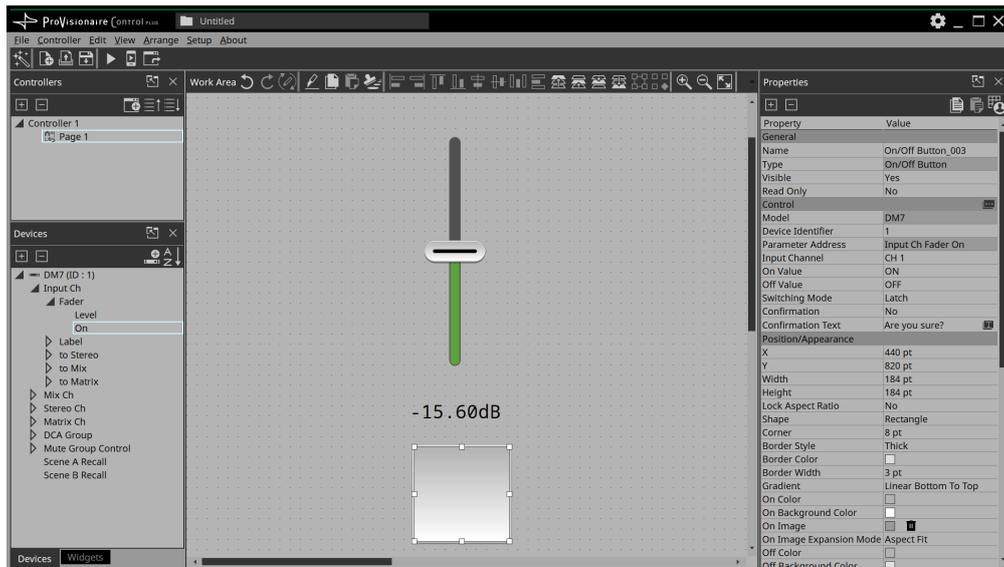
4. [CH1]を選択して、[OK]ボタンをクリックする。
ワークエリアにスライダーが配置されます。



5. [On]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。
「Input Ch Fader On」ダイアログが開きます。



6. [CH1]を選択して、[OK]ボタンをクリックする。
ワークエリアにボタンが配置されます。



7. スライダーやボタンをドラッグ&ドロップして好きな位置に配置する。

Tips

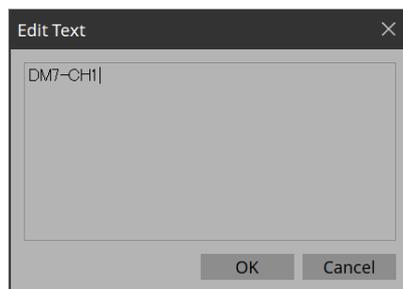
ウィジェットを配置するには、この他にも以下の方法があります。

- ・ ProVisionaire Controlに表示されたウィジェットリストからウィジェットをドラッグ&ドロップしてから、ウィジェットの上にパラメーターをドラッグ&ドロップする。
- ・ ProVisionaire DesignやMTX-MRX Editorに表示されているウィジェットをProVisionaire Controlのページ上にドラッグ&ドロップして配置する。

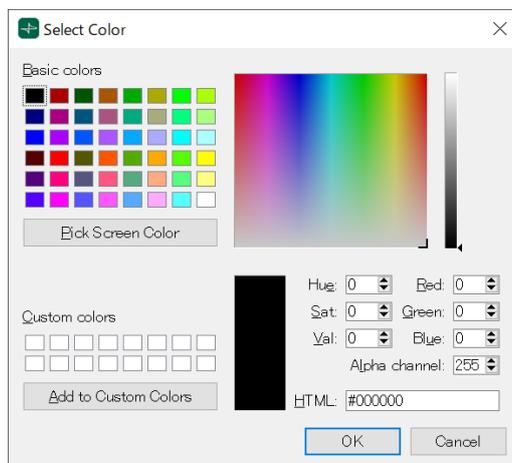
4.3. ウィジェットを識別しやすくする

ウィジェットを配置しただけではKioskではどのようなウィジェットなのか識別できないので、Kioskでも識別できるようにしましょう。

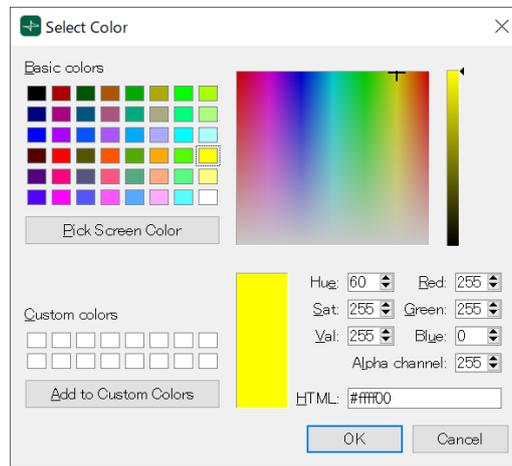
1. **スライダーをクリックする。**
スライダーが選択された状態になります。
2. **「Properties」エリアの「Label」の「Text」の右側の欄をクリックする。**
「Edit Text」ダイアログが開きます。
3. **スライダーの名称を入力する。**
今回は「DM7-CH1」とします。



4. **[OK]ボタンをクリックする。**
入力が確定して、スライダーの下に名称が表示されます。
5. **ボタンにも同様に「DM7-CH1」というラベルをつける。**
6. **ボタンの「Properties」エリアの「Text」の「On Text」の右側の欄をクリックする。**
7. **オンの時のテキストを入力する。**
今回は「ON」とします。
8. **「Text」の「Off Text」の右側の欄をクリックする。**
9. **オフの時のテキストを入力する。**
今回は「OFF」とします。
10. **「Text」の「Off Color」の右側の欄をクリックする。**
「Select Color」ダイアログが開きます。



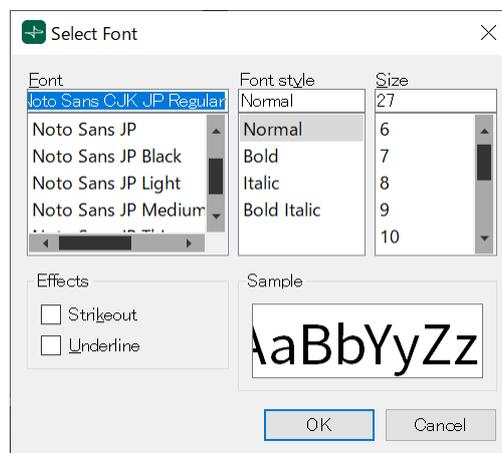
11. **オフの時の文字を他の色を選択する。**
今回は黄色とします。



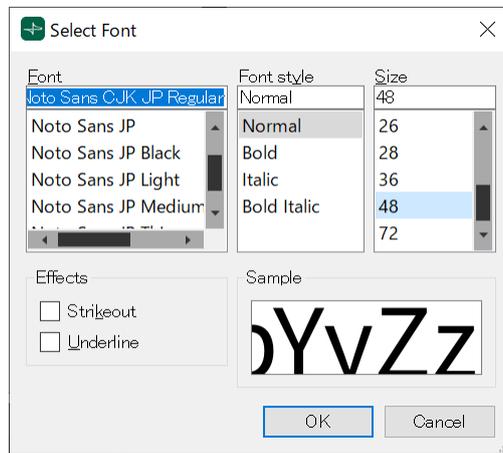
12. **[OK]ボタンをクリックする。**
ダイアログが閉じて、オフの時の文字色が黄色になります。



13. **「Text」の「Font」の右側の欄をクリックする。**
「Select Font」ダイアログが開きます。



14. **ボタンがオン/オフの時の文字列に関するフォントの調整をする。**
今回は文字の大きさを48ポイントとします。



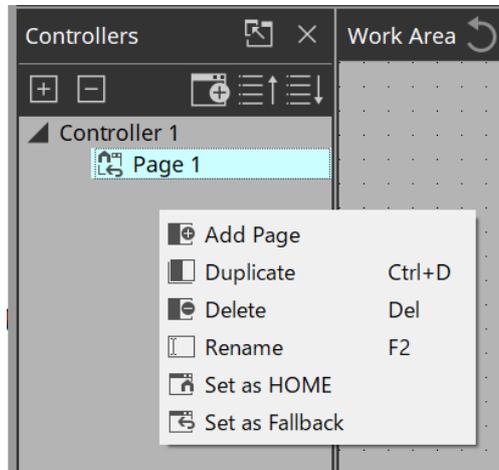
15. [OK]ボタンをクリックする。

ダイアログが閉じて、オン/オフの時の文字サイズが変化します。

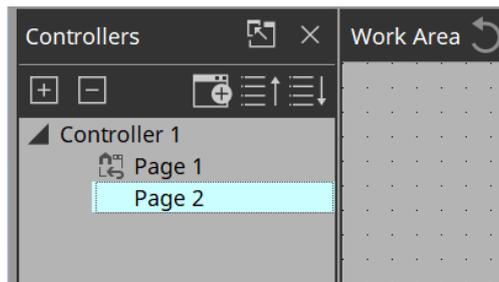
4.4. ページを追加する

コントローラーにページを追加して、ページを切り替えるためのボタンを追加しましょう。

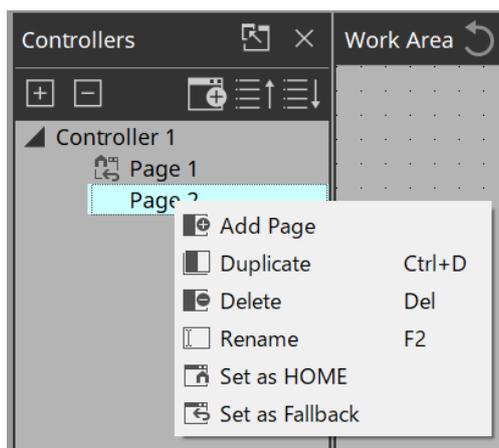
1. 「Controllers」エリアの任意の場所で右クリックする。
コンテキストメニューが表示されます。



2. 「Add Page」を選択する。
[Controller 1]にページが追加され、ワークエリアが追加したページのものに切り替わります。



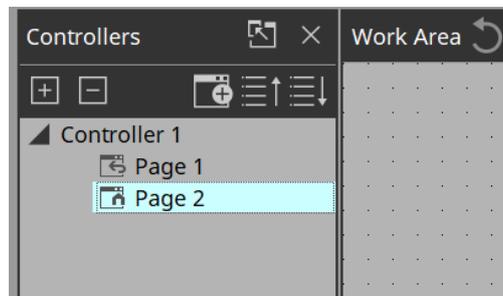
3. 追加されたページを右クリックする。
コンテキストメニューが表示されます。



4. [Set as HOME]を選択する。
追加したページがホームページとなります。

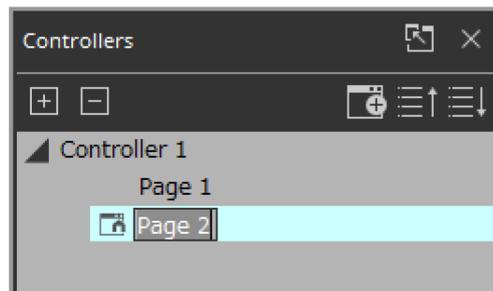


Home PageやFallback Pageは、ControllerのProperties > Auto Page Changeでも設定できます。

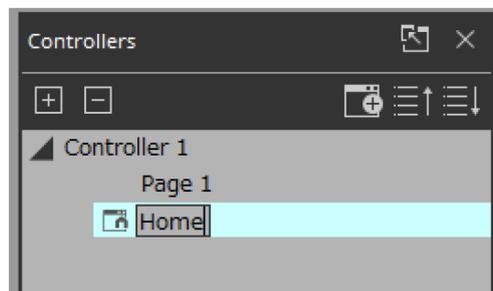


5. 追加されたページを右クリックする。
コンテキストメニューが表示されます。

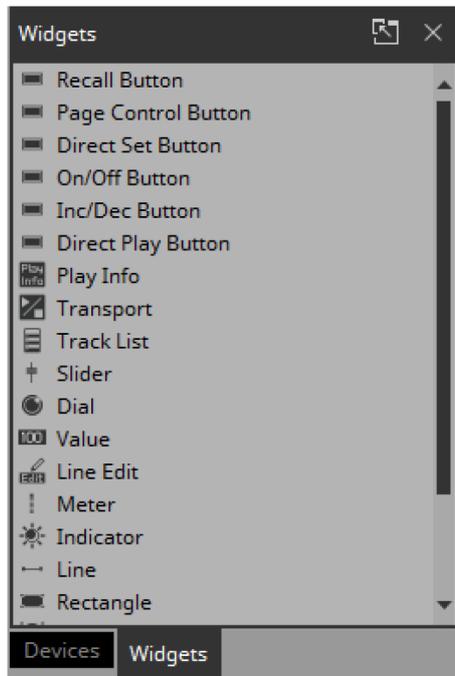
6. [Rename]を選択する。
ページの名称が変更できるようになります。



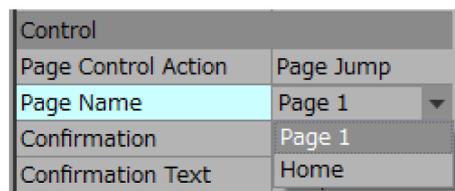
7. ページの名称を入力する。
今回はこのページがホームページなので、「Home」とします。



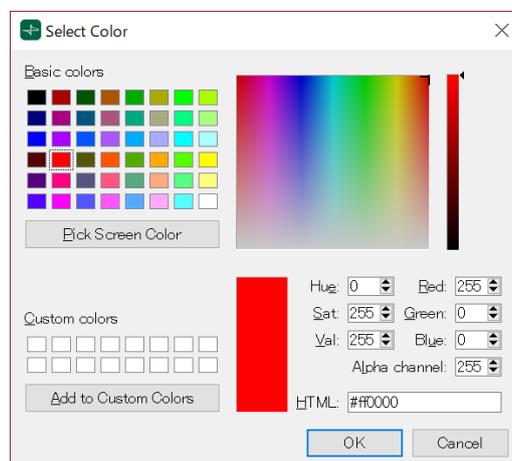
8. 「Devices」エリアの[Widgets]タブをクリックする。
エリアが「Widgets」エリアに切り替わります。



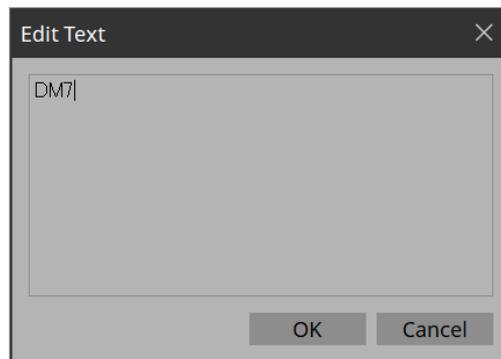
9. [Page Control Button]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。
ページを切り替えるためのボタンがワークエリアに配置されます。
10. 「Properties」エリアの「Control」の「Page Name」の右側の欄をクリックする。
ボタンをクリックすると切り替えるページがリスト表示されます。



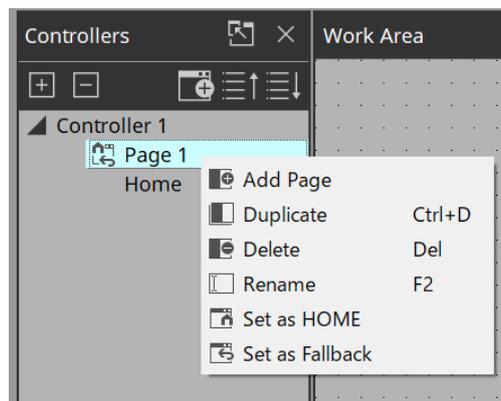
11. [Page 1]を選択する。
コントロールモードのときに、ボタンをクリックすると「Page 1」に切り変わるようになります。
12. 「Position/Appearance」の「Color」の右側の欄をクリックする。
「Select Color」ダイアログが開きます。
13. ボタンをクリックしたときの色を選択する。
今回は赤色とします。



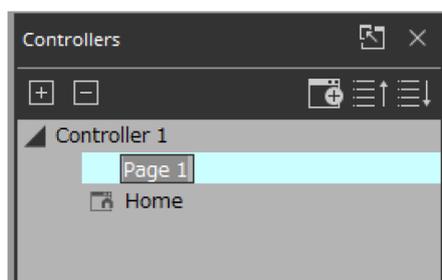
14. **[OK]ボタンをクリックする。**
ダイアログが閉じて、ボタンの色が赤になります。
15. **「Label」の「Text」の右側の欄をクリックする。**
「Edit Text」ダイアログが開きます。
16. **ボタンの名称を入力する。**
今回は「DM7」とします。



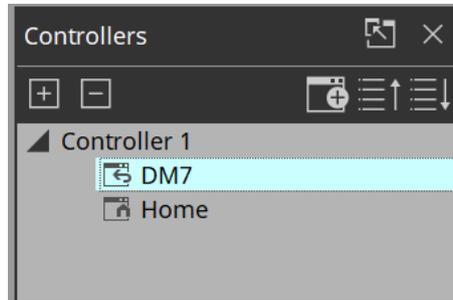
17. **[OK]ボタンをクリックする。**
ボタンの下に「DM7」と表示されます。
18. **「Controllers」エリアの[Page 1]を右クリックする。**
Page 1のワークエリアが表示され、コンテキストメニューが表示されます。



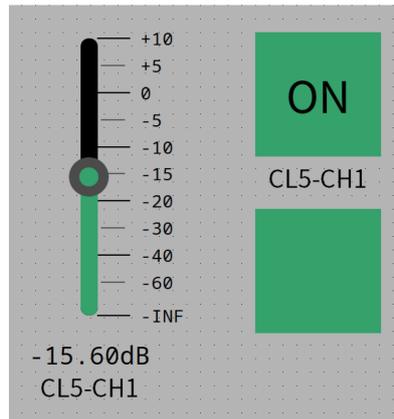
19. **[Rename]を選択する。**
「Page 1」の名称をキーボードで入力できるようになります。



20. **ページの名称を入力する。**
今回はこのページがDM7専用なので、「DM7」とします。



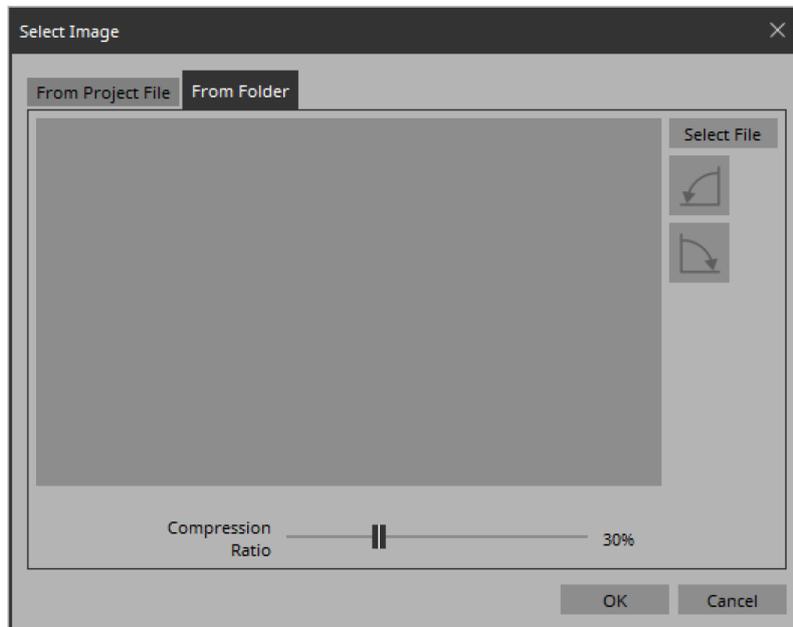
21. 「Widgets」エリアの[Page Control Button]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。
ページを切り替えるためのボタンがワークエリアに配置されます。



22. 「Properties」エリアの「Control」の「Page Name」の右側の欄をクリックする。
ボタンをクリックすると切り替えるページがリスト表示されます。

Control	
Page Control Action	Page Jump
Page Name	DM7
Confirmation	DM7
Confirmation Text	Home

23. [Home]を選択する。
コントロールモードのときに、ボタンをクリックすると「Home」に切り変わるようになります。
24. 「Position/Appearance」の「Image」の右側のをクリックする。
「Select Image」ダイアログが開きます。



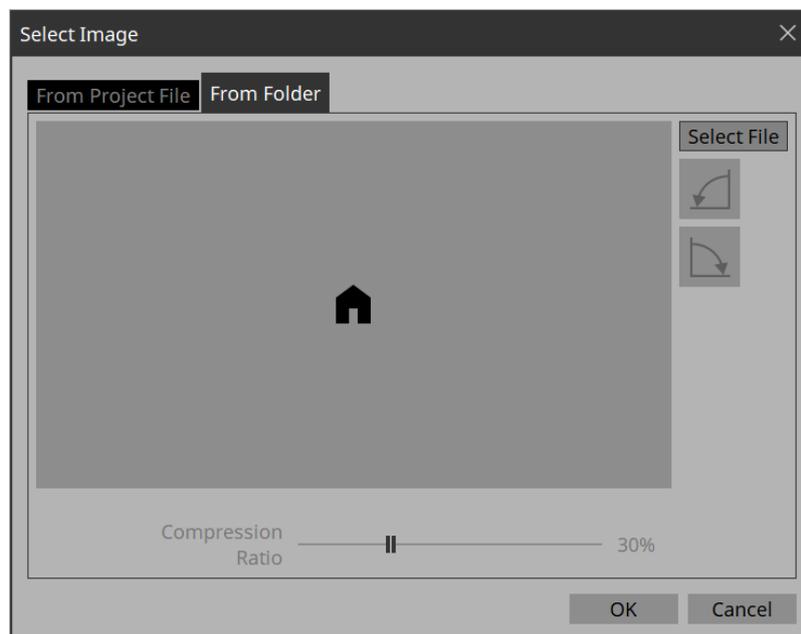
25. **Form Folder**タブに移動し、[Select File]ボタンをクリックして、コンピューター内の任意の画像ファイルを選択する。

今回は家アイコンにします。



SVG画像をImageFileフォルダーにインストールしています。ご自由にお使いください。

SVG画像は、Windowsのエクスプローラではサムネイル表示できません。画像をクリックしながら、エクスプローラのプレビューウィンドウで確認してください。



26. **[OK]**ボタンをクリックする。

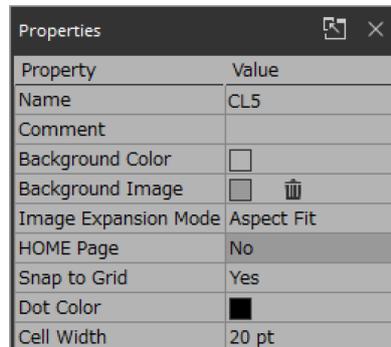
ダイアログが閉じ、「Home」ページに移動するためのボタンの中に画像が反映されます。



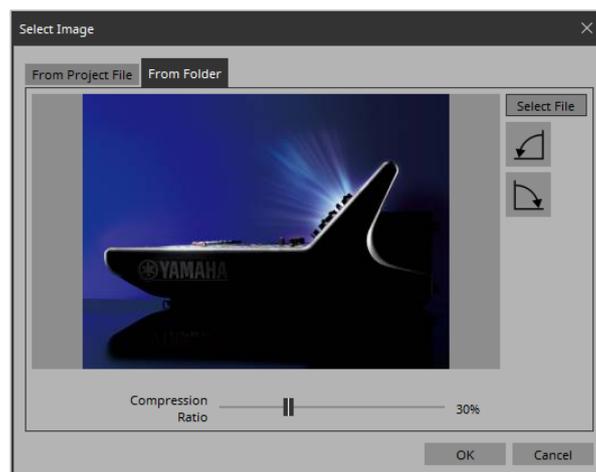
4.5. ページの背景を設定する

背景を設定する場合、ウィジェットの配置を調整する前に背景を設定した方が早く作業が終わります。

1. **ワークエリアのウィジェットがない場所をクリックする。**
「Properties」がページの設定になります。



2. **「Background Image」の右側の□をクリックする。**
「Select Image」ダイアログが開きます。
3. **[From Folder]タブをクリックする。**
4. **[Select File]ボタンをクリックして、任意の画像を選択する。**

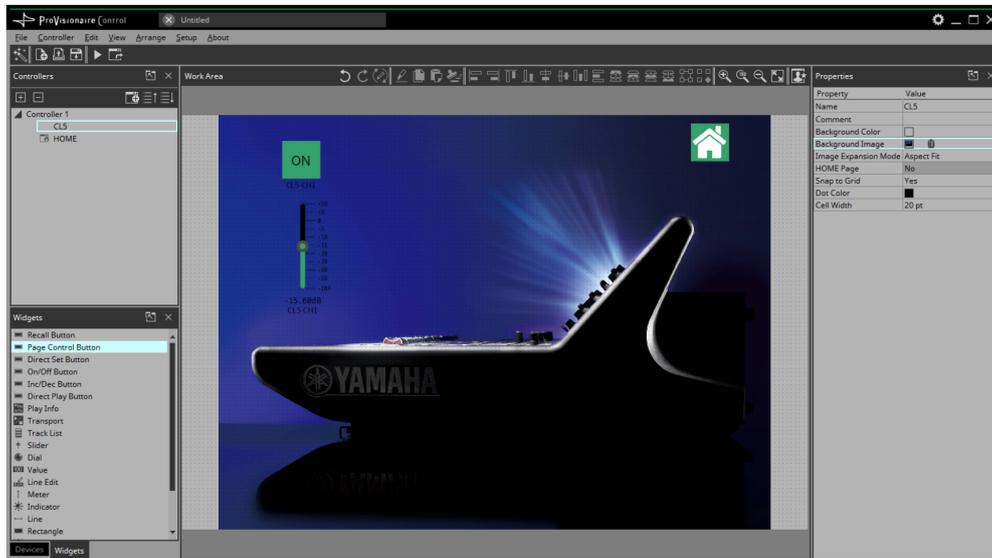


5. **「Select Image」ダイアログで[Compression Ratio]スライダーを使って圧縮率を変える。**
この画像データはプロジェクトファイルやコントローラーファイルの中に取り込まれるため、圧縮率が低いほどファイルサイズが大きくなります。
ファイルサイズが大きいとアプリケーション全体の動作に影響を及ぼすため、ある程度圧縮してファイルサイズを小さくすることをおすすめします。
6. **[OK]ボタンをクリックする。**

4.6. ウィジェットの配置を調整する

配置したウィジェットを俯瞰しながら調整しましょう。

1. メニューバーにある[Fit to Screen]ボタンをクリックして、ページ全体が見えるようにする。



2. ウィジェットの大きさを整えるために、ウィジェットをクリックして、枠に表示される白い四角をクリック&ドラッグして大きさを調整する。
3. ウィジェットをドラッグ&ドロップして位置を調整する。
4. 必要に応じて「Properties」エリアでラベルの文字サイズなどを調整する。
この作業を各ページで実施してください。

4.7. プロジェクトファイルを保存する

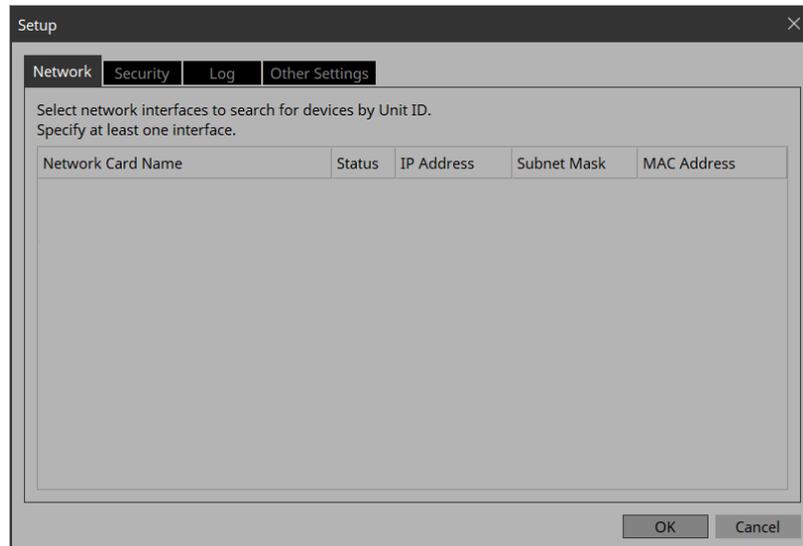
ここまで作ったプロジェクトファイルを保存しましょう。

1. メニューバーにある[Save]ボタンをクリックする。
「Save File」ダイアログが開きます。
保存処理をしたファイルの場合は上書き保存されます。
2. 「Save File」ダイアログが開いた場合、ファイルの保存先を指定し、ファイル名をつけて保存する。

4.8. 動作を確認する

各ページのウィジェットを操作して、動作を確認しましょう。ここでは対象となる機器があるという想定です。

1. 機器の電源を入れる。
2. コンピューターを機器のNETWORK端子がつながっているネットワークにつなげる。
3. タイトルバーにある[Setup]ボタン  をクリックする。
「Setup」ダイアログが開きます。



4. 機器のNETWORK端子がつながっているネットワークにつなげたネットワークインターフェースカードを選択する。



ネットワークアダプターは、最大8個まで同時に選択できます。

5. [OK]ボタンをクリックする。
ダイアログが閉じます。
6. 「Controllers」エリアで操作するコントローラーを選択する。
7. ツールバーにある[Run]ボタン  をクリックする。
Kioskが起動します。
コントローラーファイルをKioskでロードしたときの動作を確認できます。
8. 右上で「All Devices are ONLINE」と表示されていることを確認する。
「All Devices are OFFLINE」の場合、Kioskが機器を認識できていません。機器とコンピューターのネットワークの設定が正しいか確認してください。
9. 「DM7」と名付けたボタンをクリックする。
ページが移動します。

10. **フェーダーやボタンを操作して、機器と連動していることを確認する。**
配置等を変更する場合は、Kioskを終了して、「ウィジェットの配置を調整する」を実施してください。Kioskが起動したままだと変更が反映されません。
11. **Kioskを終了する。**

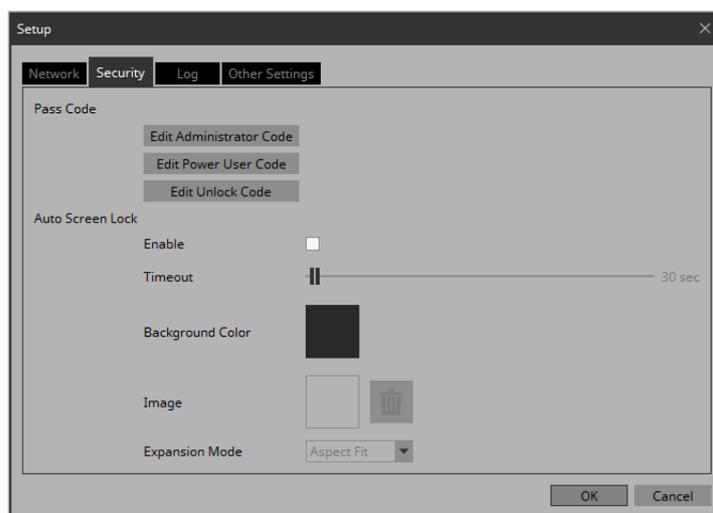
4.9. セキュリティを設定する

運用中のシステムを権限のない人の操作により、不用意に変更されることのないようにスクリーンロックを設定できます。

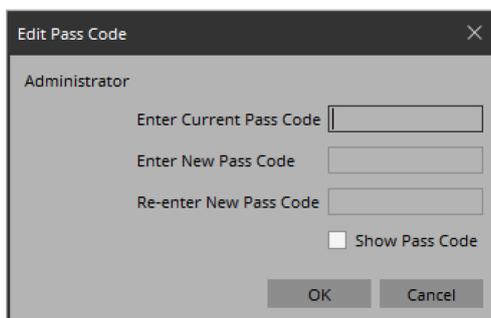
スクリーンロック解除などに使う各種パスコードやスクリーンロックの設定などをしましょう。

1. **タイトルバーにある[Setup]ボタンをクリックする。**
「Setup」ダイアログが開きます。

2. **[Security]タブをクリックする。**
セキュリティ関連の設定画面に切り替わります。



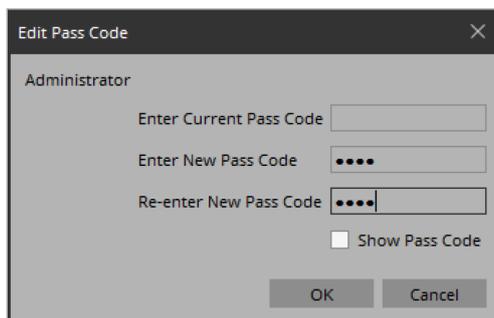
3. **[Edit Administrator Code]ボタンをクリックする。**
左上に「Administrator」と表示されている「Edit Pass Code」ダイアログが開きます。



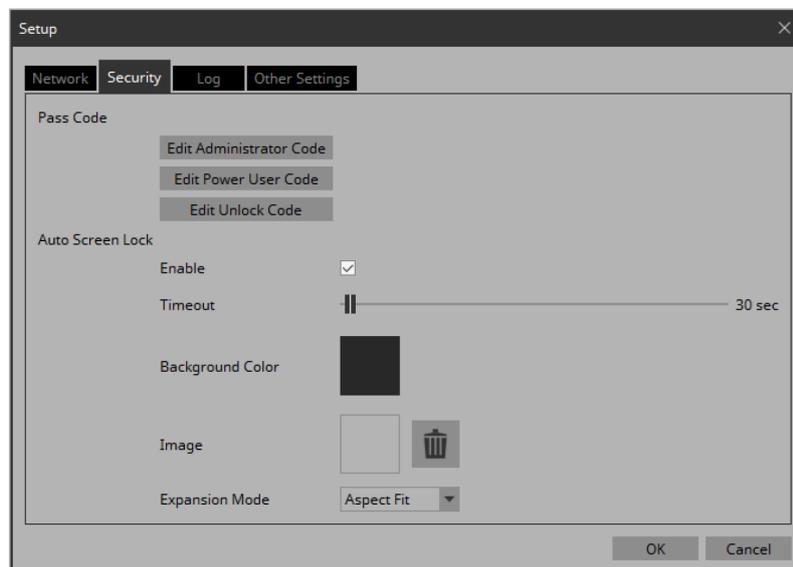
4. **[Enter New Pass Code]テキストボックスと[Re-enter New Pass Code]テキストボックスに4桁の同じ数字を入力する。**

入力した数字が管理者用のパスコードになります。

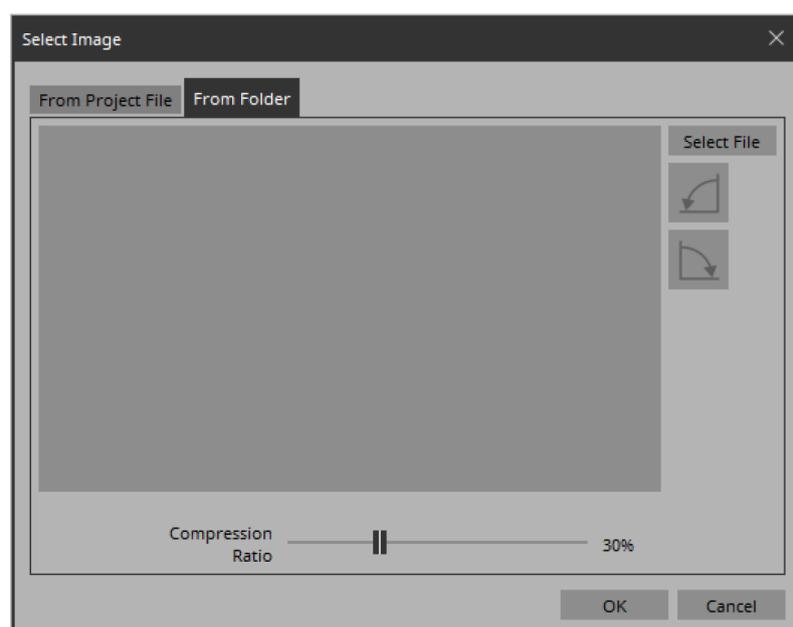
初期値ではパスコードが設定されていないので、[Enter Current Pass Code]テキストボックスは空の状態にしておいてください。



5. **[OK]ボタンをクリックする。**
Administrator用のパスコードが確定します。
6. **同様に[Edit Power User Code]ボタンや[Edit Unlock Code]ボタンをクリックして、パワーユーザーやスタッフ用のパスコードを設定する。**
スタッフ用のパスコードはパワーユーザーが変更できるので、パワーユーザーにスタッフ用のパスコードを設定してもらえば、設定はしないというやり方もあります。
7. **Screen Lockの[Enable]チェックボックスにチェックを入れる。**



8. **[Timeout]スライダーを操作して、最後に操作してから何秒後にスクリーンロック状態になるか設定する。**
9. **スクリーンロック状態になったときの表示を設定する。**
無地の場合は[Background Color]の色欄をクリックしてください。色の選択画面が表示されます。画像の場合は[Image]右横の□をクリックしてください。今回は画像を設定しますので、□をクリックします。
10. **[From Folder]タブをクリックする。**
コンピューター内の画像ファイルを適用する画面に切り替わります。



11. **[Select File]ボタンを押して、スクリーンロック時に画面に表示する画像ファイルを選択する。**

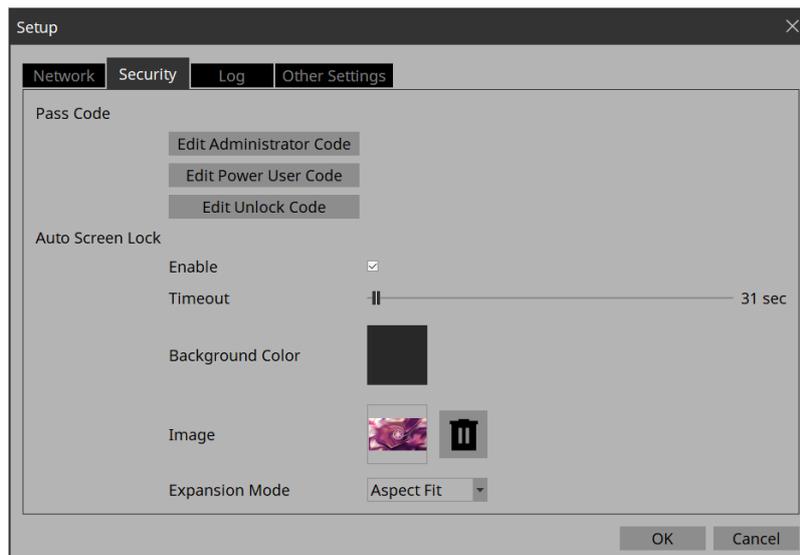
12. 「Select Image」ダイアログで[Compression Ratio]スライダーを使って圧縮率を変える。
この画像データはプロジェクトファイルやコントローラーファイルの中に取り込まれるため、圧縮率が低いほどファイルサイズが大きくなります。



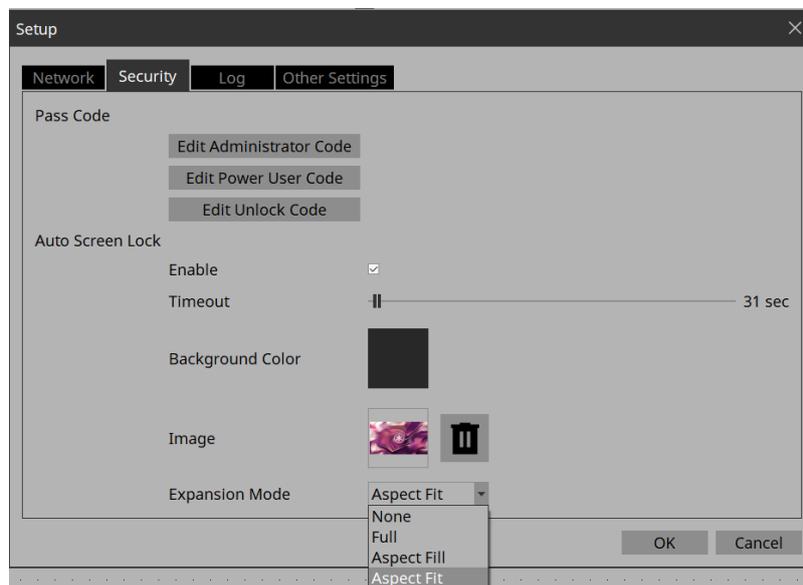
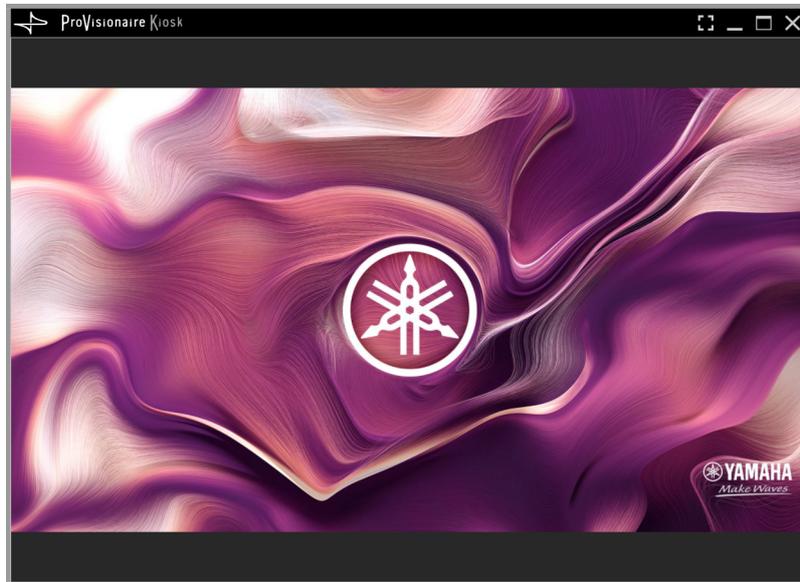
SVGファイルの場合、Compression Ratioは無効です。



13. [OK]ボタンをクリックする。
ダイアログが閉じて、「Setup」ダイアログに戻ります。



14. [OK]ボタンをクリックする。
ダイアログが閉じます。
15. ツールバーにある[Run]ボタンをクリックする。
Kioskが起動します。
16. [Timeout]スライダーで設定した時間操作をしない。
スクリーンロック画面に切り替わります。
画像の見え方を変える場合は、Kioskを終了して、「Setup」ダイアログの[Security]タブにある[Expansion Mode]で見え方の設定を変えてください。

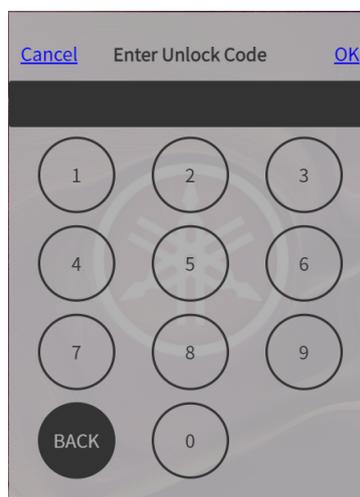


17. スクリーンロック画面をクリックする。

スクリーンロックを解除するための「Enter Unlock Code」が表示されます。

手順6で「Edit Unlock Code」を設定していなかった場合は、「Enter Unlock Code」が表示されずに画面に戻ります。

18. 手順6で設定したUnlock Codeをクリックして入力する。



4.10. コントローラーファイルを作る

実際の操作端末にインストールされるKioskのために、コントローラーファイルを作りましょう。

1. 「**Controllers**」エリアで、**コントローラーファイルを作成するコントローラー**を選択する。
2. ツールバーにある**[Export]**ボタンをクリックする。
「Export Controller File」ダイアログが開きます。
3. **任意のファイル名をつけて、[保存]**をクリックする。
[To Your Computer]タブを選択し、[Select Destination Folder]をクリックしてください。ファイル保存ダイアログが開きます。
保存先を選択して**[保存]**をクリックするとコントローラーファイルが保存されます。

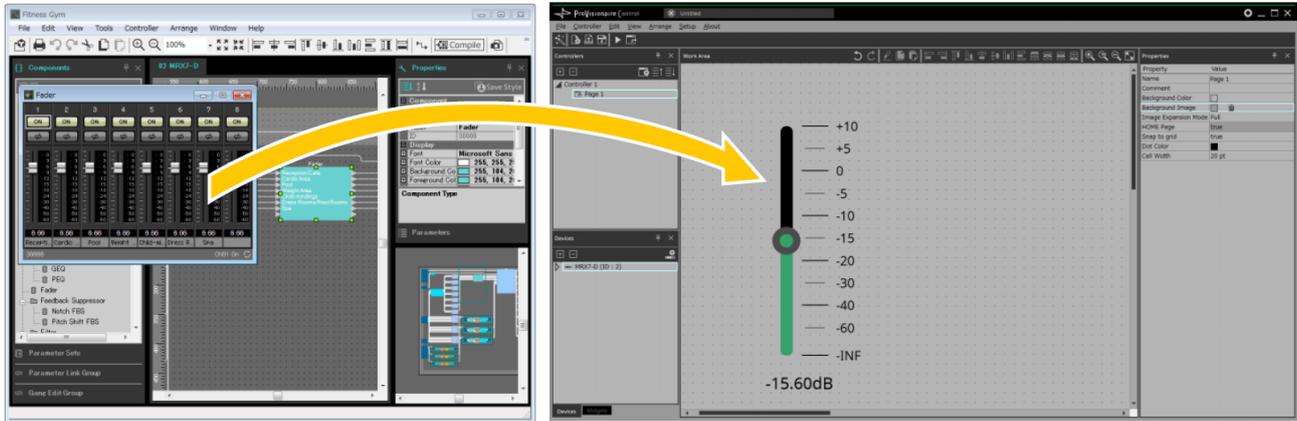


iPad/iPhoneまたはDMEにコントローラファイルを送信する方法は、[「Export Controller File」ダイアログ](#)を参照してください。

5. ProVisionaire Control以外のアプリからパラメーターやメーターを追加する

一部の機器のパラメーターやメーターは、ProVisionaire Design、MTX-MRX Editorからワークエリアに追加することができます。

ProVisionaire Design、MTX-MRX Editorのコンポーネントエディターや[Parameters]エリアのパラメーター、メーターを< Ctrl >キーを押しながらワークエリアへドラッグ&ドロップしてください。



Tips 1

ワークエリアの空白部分にドロップすると、デフォルトのウィジェットが配置されます。
配置済みのウィジェットの上にドロップすると、操作対象のパラメーターを入れ替える（ウィジェットタイプによっては追加する）ことができます。

Tips 2

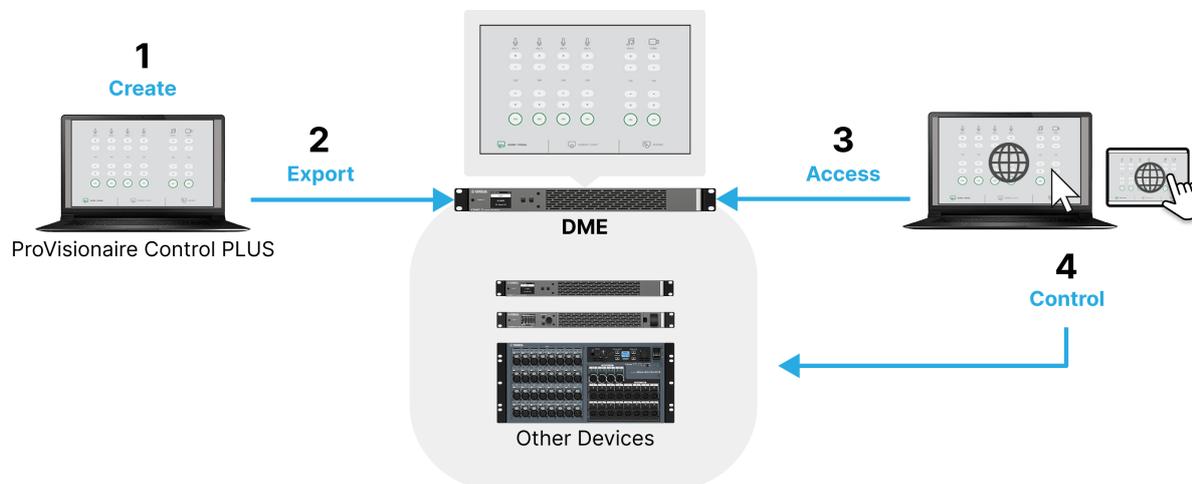
ProVisionaire Designから配置する場合は、コンポーネントエディターの各パラメーターを< Ctrl >キーを押しながら複数選択してドラッグ&ドロップすると、一斉に配置できます。

6. Custom Control Panel

Custom Control Panelとは、ProVisionaire Control PLUSで作成したコントローラーファイルをDMEに転送しておくと、ブラウザで外部のコンピューター等からDMEが保持しているコントローラーファイルにアクセスし、操作することができる機能です。



V3.0ではDME5/3のみに対応しています。



6.1. ワークフロー

1. コントローラーファイルをDMEに転送します。
転送方法は「[Export Controller File](#)」ダイアログの「to DME」タブをご参照ください。
2. コンピューター等の表示機器とDMEを同一ネットワークに接続します。
3. 表示機器のブラウザのアドレスバーに、DMEのコントロール用のIPアドレスを入力します。
DMEが保持しているコントロールパネルが表示されます。



コントロールパネルには、複数のコンピューターから同時に接続できます。



表示環境の情報（対応ブラウザやOS）は、[ヤマハプロオーディオサイト](https://www.yamahaproaudio.com/)をご参照ください。
<https://www.yamahaproaudio.com/>

7. イニシャルモード特有の機能

イニシャルモードでは今まで開いたことのあるファイルを一覧で表示します。
イニシャルモードでは右上にファイル一覧を操作するメニューを用意しています。

メニュー	概要
[Load]	選択したファイルを開きます。
[Favorite]	ファイルに★マークをつけます。 もう一回クリックするとマークが消えます。
[Remove from History]	選択したファイルを一覧から削除します。 ファイルそのものは削除されません。

一覧にないファイルを開く場合は、左上にある[Open Project File]ボタンをクリックして、ファイルを開くか、ファイルをダブルクリックしてください。

8. タイトルバー

現在開いているファイル名を表示したり、画面表示の設定変更などのボタンが配置されています。



①[File Management]ボタン

開いているプロジェクトファイルを閉じて、イニシャルモード画面に戻ります。

②ファイル名

開いているファイル名を表示します。

③[Setup]ボタン

ネットワークインターフェースを選択したり、セキュリティ設定をする「Setup」ダイアログを開きます。

■ コントロールモード

ツールバーの[Run]ボタンをクリックするとコントロールモードに移ります。



①表示切替ボタン

 アイコンをクリックすると、メニューバーが表示されます。

 アイコンをクリックすると閉じます。

②コントローラー名

起動しているコントローラー名を表示します。

③[Page List]ボタン

ページリストを表示します。表示中のページを切り替えることができます。

④[Device Info]ボタン

コントローラーファイルに登録されている機器の情報を表示します。

⑤オンラインインジケータ All Devices are OFFLINE

コントローラーファイルに登録されている機器がオンラインになっているかどうかを表示します。

アイコン緑： コントローラーファイルに登録されているすべての機器がオンラインになっています。

アイコン黄： コントローラーファイルに登録されている一部の機器がオンラインになっています。

アイコン赤： コントローラーファイルに登録されている機器が発見できているのにオンラインになっていません。

アイコン灰： オンラインの機器がありません。

⑥[Fullscreen]ボタン

コントローラーをフルスクリーンにします。フルスクリーンを解除するときは、< Esc >キーを押してください。

9. メニューバー

ProVisionaire Controlで実行できるコマンドが、カテゴリごとにまとめられています。イニシャルモードでは一部のコマンドだけが表示されます。

File Controller Edit View Arrange Setup About

[File]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[New Project]	新規のプロジェクトファイルを作成します。プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。	「New Project Wizard」ダイアログ、または「Setup」ダイアログ
[Open Project File]	既存のプロジェクトファイルを開きます。プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。	「Open File」ダイアログ
[Save]	プロジェクトファイルを上書き保存します。最初に保存するときは「Save File」ダイアログが開きますので、ファイルに名前を付けて保存します。	—
[Save As]	プロジェクトファイルを別のファイルとして保存します。	「Save File」ダイアログ
[Close Project]	プロジェクトファイルを閉じます。プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。	イニシャルモード
[Exit]	プロジェクトファイルを終了します。プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。	—

[Controller]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Add]	コントローラーを追加します。追加されたコントローラーにはページが一つ追加されます。	「Add Controller」ダイアログ
[Auto page Change]	任意の機器のRecallによってPageを切り替えます。	「Auto page Change」ダイアログ
[Run]	選択しているコントローラーをコントロールモードで動作させます。	—
[Run Controller File]	「Run Controller File」ダイアログが開きます。コントローラーをiPad/iPhoneに送信して動作を確認できます。	「Run Controller File」ダイアログ
[Import]	プロジェクトファイルからコピーしたいコントローラーを選択します	「Select Controllers to Import」ダイアログ

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Export]	選択しているコントローラーのコントローラーファイルを作成します。また、KioskがインストールされたiPad/iPhoneまたはDMEにコントローラーファイルを送信します。	「Export Controller File」ダイアログ

[Edit]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Undo]	ウィジェットに関する前の操作を取り消します。いくつかの項目は取り消せません。	—
[Redo]	[Undo]で取り消した操作を再実行します。	—
[Repeat]	ウィジェットのスタイルに関する直前の操作を繰り返します。いくつかの項目は繰り返せません。	—
[Cut]	選択している物をコピーバッファーに移動します。	—
[Copy]	選択している物をコピーバッファーにコピーします。	—
[Paste]	コピーバッファーにある物を貼り付けます。	—
[Copy Appearance]	選択している単一ウィジェットのAppearance(見た目に関わる設定)をコピーバッファーにコピーします。	—
[Paste Appearance]	選択している単一ウィジェットにコピーバッファーにあるAppearance(見た目に関わる設定)を貼り付けます。	—
[Save as Style]	選択しているウィジェットのAppearance(見た目に関わる設定)をプロジェクトで選択中のスタイルに反映します。反映後は、「Style」ダイアログで確認できます。	—
[Apply Style to Widgets]	選択しているウィジェットにスタイルを適用します。	—
[Duplicate]	選択しているウィジェットを複製します。	—
[Duplicate to Other Channels]	選択している単一ウィジェットを複製し、複製元以外のチャンネルを割り当てます。複製するチャンネルは複数選択できます。	—
[Delete]	選択しているウィジェットを削除します。	—
[Select All]	ページ内にあるすべてのウィジェットを選択します。	—
[Imported Images]	プロジェクトファイル内にある画像データを表示/削除します。 NOTE 配置されているウィジェットで使用されている画像データ、プロジェクトで選択中のスタイルで使用されている画像データも削除されます。確定後、操作の取り消し(Undo)はできません。	「Imported Images」ダイアログ

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Create Multi Buttons]	ワークエリア上に配置されている複数ボタンを一括操作するマルチボタンを作成します。このコマンドを実行する前に対象となるボタンを選択しておいてください。	—
[Create Multi Slider]	ワークエリア上に配置されている複数スライダーを一括操作するマルチスライダーを作成します。このコマンドを実行する前に対象となるスライダーを選択しておいてください。	—

[View]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Devices]	チェックを入れると、該当するエリアが表示されます。	—
[Widgets]		—
[Controllers]		—
[Properties]		—
[Tool Bar]		—
[Dock All]	すべてのエリアのフロート化を解除します。	—

[Arrange]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Align Left]	複数選択しているウィジェットのうち一番左側にあるウィジェットに左端をあわせませす。	—
[Align Right]	複数選択しているウィジェットのうち一番右側にあるウィジェットに右端をあわせませす。	—
[Align Top]	複数選択しているウィジェットのうち一番上側にあるウィジェットに上端をあわせませす。	—
[Align Bottom]	複数選択しているウィジェットのうち一番下側にあるウィジェットに下端をあわせませす。	—
[Align Horizontal Center]	複数選択しているウィジェットの水平方向の中間にウィジェットの中央をあわせませす。	—
[Align Vertical Center]	複数選択しているウィジェットの垂直方向の中間にウィジェットの中央をあわせませす。	—
[Distribute Horizontally]	複数選択しているウィジェットの水平方向を等間隔にします。	—
[Distribute Vertically]	複数選択しているウィジェットの垂直方向を等間隔にします。	—
[Bring to Front]	選択しているウィジェットを最前面に移動します。	—
[Bring Forward]	選択しているウィジェットを前面に移動します。	—

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Send Backward]	選択しているウィジェットを背面に移動します。	—
[Send to Back]	選択しているウィジェットを最背面に移動します。	—
[Group]	複数選択しているウィジェットをグループ化します。	—
[Ungroup]	選択しているグループのグループ化を解除します。	—

[Setup]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Network]	機器と通信するためのコンピューターのネットワークインターフェースカードを選択します。	「Setup」ダイアログ
[Security]	セキュリティに関する設定をします。	
[Log]	ProVisionaire Edgelに関する設定をします。	
[Others]	ウィジェットのサイズや位置情報の単位を設定します。	
[Style]	プロジェクトで使用するスタイルを設定します。	「Style」ダイアログ

[About]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[About ProVisionaire Control PLUS]	ProVisionaire Controlのバージョンなどの詳細情報を表示します。	「About」ダイアログ

10. ツールバー

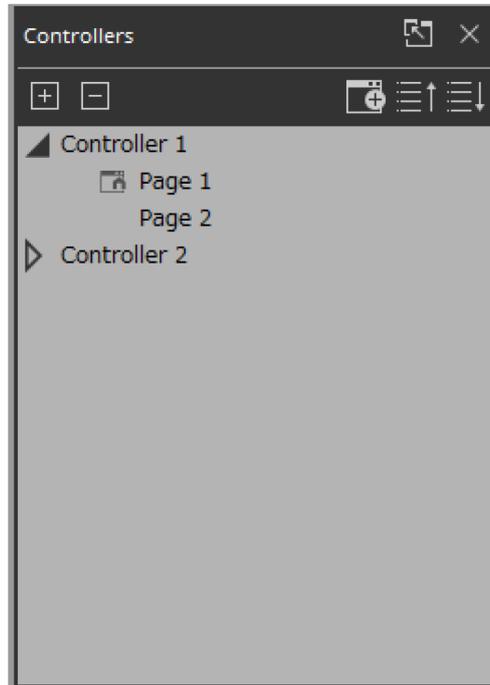
[Open Project File]や[Save]などProVisionaire Controlのプロジェクト単位でよく使うコマンドをボタンにしています。

イニシャルモードでは[New Project]ボタンと[Open Project File]の二つが表示されます。

ボタン	コマンド	概要
	[New Project]	新規のプロジェクトファイルを作成します。 プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。
	[Open Project File] / [Open Controller File]	既存のプロジェクトファイルまたはコントローラーファイルを開きます。 プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。
	[Save]	プロジェクトファイルを上書き保存します。 最初に保存するときは「Save File」ダイアログが開きますので、ファイルに名前を付けて保存します。
	[Run]	選択しているコントローラーをコントロールモードで動作させます。
	[Run Controller File]	「Run Controller File」ダイアログが開きます。 コントローラーをiPad/iPhoneに送信して動作を確認できます。
	[Export]	選択しているコントローラーのコントローラーファイルを作成します。また、KioskがインストールされたiPad/iPhoneにコントローラーファイルを送信します。

11. 「Controllers」 エリア

プロジェクトのコントローラーとページのリストを表示するエリアです。選択されているページをワークエリアに表示します。



コントローラーの左側にある三角形  をクリックすることで、コントローラー個別にページの展開/折りたたみができます。

ページの左側にあるアイコンは2種類あります。

-  Home Page: コントローラファイルをKioskで起動したときに表示するページです。
-  Fallback: Kioskで問題が発生したときに表示するページです。
-  Home & Fallback: 両方の機能を兼ねたページです。

■ ボタン

「Controllers」 エリアにあるボタンの説明をします。

ボタン	コマンド	概要
	[Expand All]	コントローラーとページを全展開します。
	[Collapse All]	コントローラーとページをすべて折りたたみます。
	[Add]	コントローラーを追加します。追加されたコントローラーにはページが一つ追加されます。
	[Move Page Up]	選択されているページ位置を1つ上に移動させます。

ボタン	コマンド	概要
	[Move Page Down]	選択されているページ位置を1つ下に移動させます。

■ コンテキストメニュー

メニュー	概要
[Add Page]	選択されているコントローラーにページを追加します。ページが選択されている場合は、そのページを含むコントローラーにページを追加します。
[Duplicate]	選択しているコントローラーまたはページの複製を追加します。ページが選択されている場合は、そのページを含むコントローラーに複製を追加します。
[Delete]	選択しているコントローラーまたはページを削除します。
[Rename]	選択しているコントローラーまたはページの名称を変更できるようにします。
[Run]	選択しているコントローラーをコントロールモードで動作させます。コントローラーの[Type]がProVisionaire Kioskの場合は、「Run Controller File」ダイアログが開きます。コントローラーを送信して、iPad上のProVisionaire Kioskで動作を確認してください。
[Run Controller File]	「Run Controller File」ダイアログが開きます。コントローラーをiPad/iPhoneに送信して動作を確認してください。
[Export]	選択しているコントローラーのコントローラーファイルを作成します。
[Set as HOME]	選択しているページをそのコントローラーのホームページにします。
[Set as Fallback]	Kioskで問題が発生したとき（コードの認証に失敗など）に表示するページを指定します。

■ プロパティ

コントローラーやページにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。コントローラーのタイプによって表示されないパラメーターがあります。

● コントローラー

Property	Value
General	
[Name]	コントローラーの名称です。クリックすると編集できます。
[Comment]	コントローラーのコメントです。コントローラー名だけでは説明しきれない内容などを記入してください。
[Enable File Operation for Power User]	Kioskでコントローラファイルをパワーユーザーの権限で開きます。パワーユーザーは、Settingsなど一部の設定が制限されます。

Property	Value
[Auto Page Change]	指定した機器のプリセットやシーンがリコールされたときにKioskのページを切り替えます。
Property	Value
Pages	
[Display Aspect Ratio]	画面比です。（横：縦） Kioskを起動するデバイスの画面比にあわせてください。 Customを選択したときはHorizontal（横）、Vertical（縦）を直接入力してください。 コントローラーを作成中でも変更できます。
[Horizontal]	Display Aspect RatioがCustomのとき、コントローラーの横サイズを指定します。 コントローラーを作成中でも変更できます。
[Vertical]	Display Aspect RatioがCustomのとき、コントローラーの縦サイズを指定します。 コントローラーを作成中でも変更できます。
[Display Size]	コントローラーの対角線の長さです。 Kioskを起動するデバイスのディスプレイサイズにあわせてください。
[90-degree rotation]	(Yes)を選択するとコントローラーの縦、横を入れ替えます。 配置されているWidgetの向きは変わりません。
[Open with Full Screen Style]	(Yes)を選択するとKioskを全画面表示します。
Pass code	
[Pass Code Setting]	Kioskで使用するパスコードを「Setup」ダイアログで設定したコードにするか(Use Project Pass Code)、コントローラーごとに設定したコードにするか(Use Controller Pass Code)を選択します。 [Use Controller Pass Code]にすると、[Administrator Code]、[Power User Code]、[Unlock Code]が編集可能になります。
[Administrator Code]	[Pass Code Setting]で[Use Controller Pass Code]を選択すると編集可能になります。
[Power User Code]	Valueをクリックすると編集画面が表示されます。
[Unlock Code]	
ProVisionaire Edge	
[ProVisionaire Edge Setting]	ProVisionaire Edgeに関する設定を「Setup」ダイアログで設定したものを使う(Use Project Setting)か、コントローラーのプロパティーで設定したものを使う(Use Controller Setting)かをコントローラーごとに選択します。 [Use Controller Setting]にすると、[Destination ProVisionaire Edge]、[Destination ProVisionaire Edge IP Address]が編集可能になります。

Property	Value
[Destination ProVisionaire Edge]	[ProVisionaire Edge Setting]で[Use Controller Setting]を選択すると、編集可能になります。 [System Monitor]ウィジェットに表示するProVisionaire EdgeのデータをKioskと同じコンピューターから取得するか、(This PC)か、別のコンピューターから取得するか(Other PC)かを選択します。
[Destination ProVisionaire Edge IP Address]	[ProVisionaire Edge Setting]で[Use Controller Setting]を選択し、[Destination ProVisionaire Edge]でOther PCを選択すると、編集可能になります。ProVisionaire EdgeがインストールされているコンピューターのIP Addressを設定します。

Property	Value
Widgets (ProVisionaire Kiosk で使用する際の表示)	
[Show Widget Selection Border]	Yesを選択すると、選択されていることを示す枠をウィジェットに表示します。
[Offline Indication]	Yesを選択すると、パラメーターを有する機器とのオンライン状態を示すインジケーターをウィジェットの右上に表示します。
[No Assign Indication]	Yesを選択すると、機器のパラメーターがアサインされていないウィジェットの右上にクリップを表示します。

Property	Value
Controller	
ControllerのProperties>pagesと同じ設定です。	
Page	
[Name]	ページの名称です。クリックすると編集できます。
[Comment]	ページのコメントです。クリックすると「Edit Text」ダイアログが開いて、コメントの編集ができます。
[HOME Page]	ホームページに設定されているとき、Yesと表示されます。 設定する場所は以下のとおりです。 ・ Devicesエリアのページを右クリックしたときに表示されるメニューの[Set as HOME] ・ ControllerのProperties > Auto Page Change
[Fallback Page]	フォールバックページに設定されているとき、Yesと表示されます。 設定する場所は以下のとおりです。 ・ Devicesエリアのページを右クリックしたときに表示されるメニューの[Set as Fallback] ・ ControllerのProperties > Auto Page Change
[Power User Code Required]	Yesを選択すると、Kioskでこのページに移動するときにパワーユーザーコードによる認証を行います。 ホームページに指定されているときは編集できません。
[Background Color]	ページの背景色です。四角をクリックすると、「Select Color」ダイアログが開いて、背景色を選択できます。

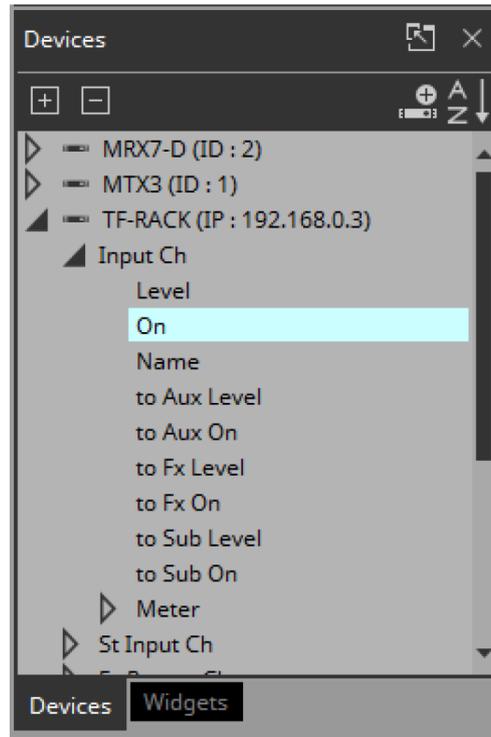
Property	Value
[Background Image]	ページの背景画です。四角をクリックすると、「Select Image」ダイアログが開いて、背景色より上に表示する画像データを選択できます。ゴミ箱ボタンをクリックすると背景画の設定を解除します。
[Scaling]	画像の縮小率を設定します。
[Image Expansion Mode]	背景画の見せ方を設定します。設定については「 Expansion Modeについて 」を参照してください。
[Snap to Grid]	グリッドに合わせてウィジェットを配置する(Yes)か、自由に配置する(No)か選択します。
[Dot Color]	グリッドのドットの色です。四角をクリックすると、「Select Color」ダイアログが開いて、ドットの色を選択できます。
[Cell Width]	グリッドの間隔です。クリックするとスピンボックスが表示され、クリック操作または直接入力編集できます。

12. 「Devices」エリア

プロジェクトに登録されている機器とその機器のパラメータを表示するエリアです。

パラメータをワークエリアにドラッグ&ドロップすることでウィジェットを配置します。

インプットチャンネルの[On]など複数ある場合は、ドロップしたときにどれを当てはめるか確認するダイアログが表示されます。ダイアログでは< Ctrl >キーや< Shift >キーを使うことで複数選択もできます。



機器やパラメータの左側にある三角形  をクリックすることで、機器やパラメータを個別に展開/折りたたむことができます。

下にあるタブで「Devices」エリアを表示するか、「Widgets」エリアを表示するか切り替えられます。

また  をクリックすることでエリアがフロートして、タブが消えます。

登録されていない機器を検出した場合は、その機器の左側に「？」が表示されます。

■ ボタン

「Devices」エリアにあるボタンの説明をします。

ボタン	コマンド	概要
	[Expand All]	機器とパラメータを全展開します。
	[Collapse All]	機器とパラメータをすべて折りたたみます。
	[Add Device]	プロジェクトに機器を追加します。
	[Sort Devices in Ascending Order]	機器の表示順を昇順にします。

ボタン	コマンド	概要
	[Sort Devices in Descending Order]	機器の表示順を降順にします。

■ コンテキストメニュー

メニュー	概要
[Add]	プロジェクトに登録されていない機器を検出した場合、該当機器を登録します。
[Delete]	機器を削除します。

■ プロパティ

機器やパラメーターにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。

Property	Value
[Model]	機器のモデル名を表示します。
[Identifier]	機器のUNIT IDやIPアドレスを表示します。 クリックすると「Edit Device Identifier」ダイアログが開いて、UNIT IDやIPアドレスを編集できます。対象機器のウィジェットが既に配置されている場合、変更に合わせてウィジェットのUNIT IDやIPアドレスが変わります。
[Device Name]	機器の名称です。クリックすると編集できます。

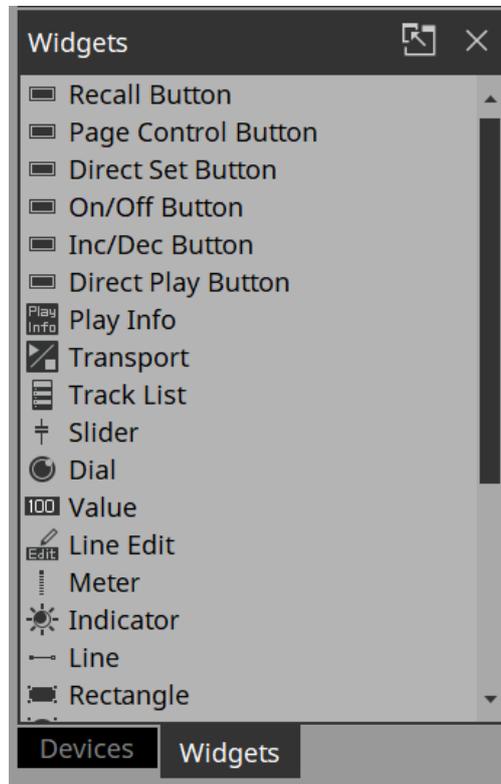
13. 「Widgets」エリア

ワークエリアに配置できるウィジェットを表示するエリアです。

ウィジェットをワークエリアにドラッグ&ドロップで配置します。

配置されたウィジェットの上に「Devices」エリアのパラメーターをドラッグ&ドロップすることで機器のパラメーターをアサインします。

機器のパラメーターは、MTX-MRX EditorやProVisionaire Designのコンポーネントエディターからドラッグ&ドロップでアサインすることもできます。



各ウィジェットの詳細については「[ウィジェット](#)」の章を参照してください。

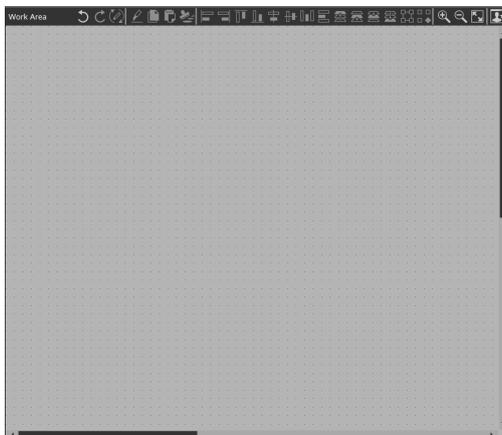
このエリアではボタンやコンテキストメニュー、プロパティに関する項目はありません。

14. ワークエリア

現在選択しているページが表示されます。

このエリアにパラメーターやウィジェットを配置します。

配置方法は、「Devices」エリア、「Widgets」エリア、「ProVisionaire Control以外のアプリからパラメーターやメーターを追加する」を参照ください。



既に配置されているウィジェットにパラメーターを(ProVisionaire DesignやMTX-MRX Editorからの場合は<Ctrl>キーを押しながら)ドラッグ&ドロップすると、操作対象のパラメーターを入れ替える(ウィジェットタイプによっては追加する)ことができます。

ワークエリアのウィジェット以外の部分をクリックすると、「Properties」エリアにページのプロパティーが表示されます。

■ ボタン

ワークエリアの上部にはワークエリア操作でよく使うコマンドをボタンにしています。

ボタン	コマンド	概要
	[Undo]	ウィジェットに関する前の操作を取り消します。いくつかの項目は取り消せません。
	[Redo]	[Undo]で取り消した操作を再実行します。
	[Repeat]	任意のウィジェットの「Properties」エリア>Position/Appearance(X、Y、Width、Heightを除く)を変更したとき、次に選択したウィジェットに同じ変更を適用します。
	[Cut]	選択されている物をコピーバッファーに移動します。
	[Copy]	選択されている物をコピーバッファーにコピーします。
	[Paste]	コピーバッファーにある物を貼り付けます。

ボタン	コマンド	概要
	[Duplicate to Other Channels]	機器のパラメーターがアサインされているウィジェットに対して設定されているチャンネル等を変更したウィジェットを複製します。
	[Align Left]	複数選択しているウィジェットのうち一番左側にあるウィジェットに左端をあわせませます。
	[Align Right]	複数選択しているウィジェットのうち一番右側にあるウィジェットに右端をあわせませます。
	[Align Top]	複数選択しているウィジェットのうち一番上側にあるウィジェットに上端をあわせませます。
	[Align Bottom]	複数選択しているウィジェットのうち一番下側にあるウィジェットに下端をあわせませます。
	[Align Horizontal Center]	複数選択しているウィジェットの水平方向の中間にウィジェットの中央をあわせませます。
	[Align Vertical Center]	複数選択しているウィジェットの垂直方向の中間にウィジェットの中央をあわせませます。
	[Distribute Horizontally]	複数選択しているウィジェットの水平方向を等間隔にします。
	[Distribute Vertically]	複数選択しているウィジェットの垂直方向を等間隔にします。
	[Bring to Front]	選択しているウィジェットを最前面に移動します。
	[Bring Forward]	選択しているウィジェットを前面に移動します。
	[Send Backward]	選択しているウィジェットを背面に移動します。
	[Send to Back]	選択しているウィジェットを最背面に移動します。
	[Group]	複数選択しているウィジェットをグループ化します。
	[Ungroup]	グループ化されているウィジェットのグループ化を解除します。
	[Zoom In]	ワークエリアの表示を拡大します。

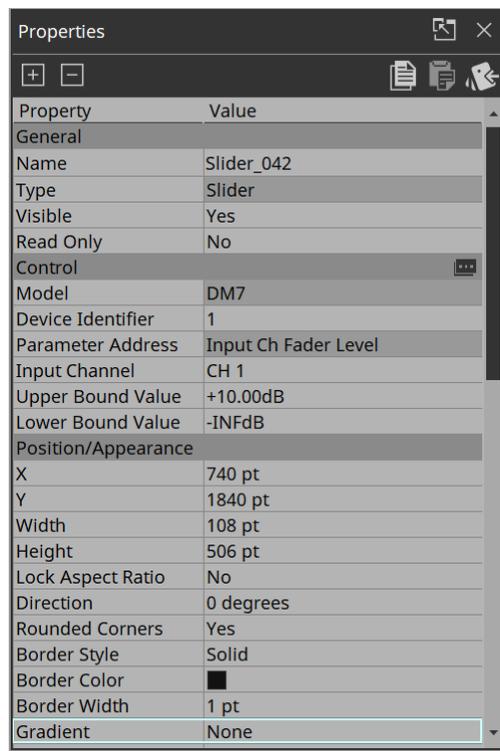
ボタン	コマンド	概要
	[Zoom Origin]	ワークエリアの表示を100%にします。
	[Zoom Out]	ワークエリアの表示を縮小します。
	[Fit to Screen]	ワークエリアにページ全体を表示します。
	[Open Style]	「Style」ダイアログを開きます。

15. 「Properties」エリア

ページやウィジェットなどのプロパティを表示します。

「Value」欄に網掛けのない部分に関しては編集できます。

個別の項目を展開または折りたたむ場合は、プロパティのカテゴリー名をダブルクリックしてください。



15.1. ボタン

「Properties」エリアの上部にはプロパティ操作でよく使うコマンドをボタンにしています。

ボタン	コマンド	概要
	[Expand All]	プロパティの項目を全展開します。
	[Collapse All]	プロパティの項目をすべて折りたたみます。
	[Copy Appearance]	選択されているウィジェットのAppearance(見た目に関わる設定)をコピーバッファにコピーします。
	[Paste Appearance]	選択されているウィジェットにコピーバッファにあるAppearance(見た目に関わる設定)を貼り付けます。
	[Save as Style]	選択されているウィジェットのAppearanceをスタイルに反映します。

16. ウィジェット

ウィジェットとウィジェットを選択したときに「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。

16.1. 「ウィジェット共通の項目」

16.1.1. General

Property	Value
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことなどができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	[No]を選択すると、Kioskを起動したときにウィジェットを表示しません。
[Read Only]	[Yes]を選択すると、Kioskを起動したときにウィジェットを操作できません。このときウィジェットはインジケータのように機能します。

16.1.2. Control

Property	Value
[Model]	ウィジェットにアサインされているパラメーター/プリセット等を有する機器のモデル名です。
[Device Identifier]	ネットワーク上の機器の検索方法です。クリックすると変更できます。
[Parameter Address]	ウィジェットにアサインされているパラメーターのアドレスです。
[Input Channel]	ウィジェットにアサインされているパラメーターのチャンネル番号などです。
[Confirmation]	[Yes]を選択すると、Kioskで操作を実行する前に確認のメッセージを表示します。
[Confirmation Text]	クリックすると、確認メッセージを編集できます。

16.1.3. Position/Appearance

X、Y以外はスタイルに関する情報です。

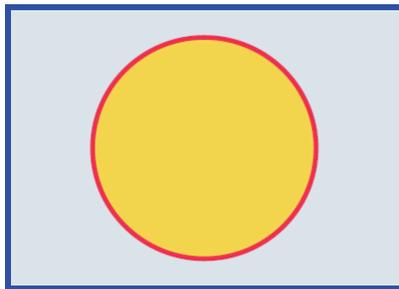
Property	Value
[X]	画面の左上からウィジェットの左上までの横方向の距離を設定します。
[Y]	画面の左上からウィジェットの左上までの縦方向の距離を設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの高さを設定します。
[Lock Aspect Ratio]	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
[Shape]	ウィジェットの形状を選択します。
[Corner]	ウィジェットの角の丸みを設定します。
[Border Style]	ウィジェットの縁取りの種類を選択します。
[Border Color]	ウィジェットの縁取りの色を設定します。
[Border Width]	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。
[Gradient]	ウィジェット内部のグラデーションの種類を選択します。
[Color] [On Color] [Off Color] *1	ウィジェット内部の色を設定します。
[Background Color] [On Background Color] [Off Background Color] *1	ウィジェット内部の背景色を設定します。
[Image] [On Image] [Off Image] *1	ウィジェット内部の画像を設定します。
[Image Expansion Mode] [On Image Expantion Mode] [Off Image Expantion Mode] *1	ウィジェット内部の画像の見え方を選択します。
[Scaling] [On Image Scaling] [Off Image Scaling] *1	画像の縮小率を設定します。
[Effect]	ウィジェット外部の影の付け方を設定します。

*1 ウィジェットにステータスがあるときは、ステータスごとに設定できます。

Image Expansion Mode

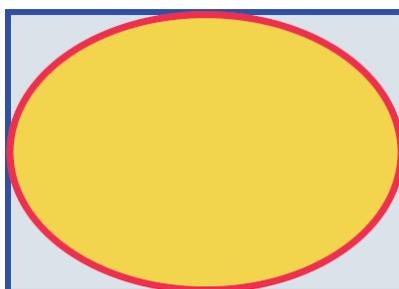
- **None**

イメージを拡大縮小せず、表示領域中央に配置



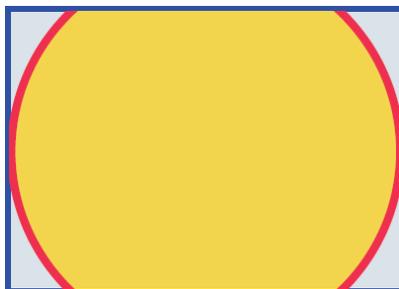
- **Full**

イメージの縦横比を無視して、高さ、幅ともに表示領域いっぱいにフィットするように拡大縮小して表示



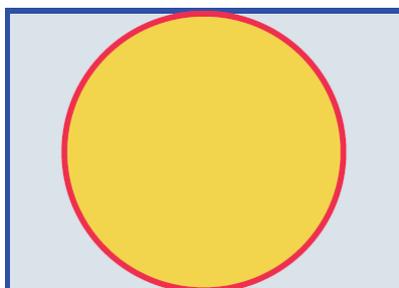
- **Aspect Fill**

イメージの縦横比を保ったまま、可能な限り表示領域を空白なく埋めるように、イメージを拡大縮小して表示



- **Aspect Fit**

イメージの縦横比を保ったまま、表示領域に画像全体が収まる最大サイズに拡大縮小して表示



- **Scaling**

ウィジェットに対する画像の縮小率を設定できます。100%を選択すると、画像を領域いっぱいに表示します。

16.1.4. Text

ウィジェットの内部に表示する文字列です。
 “Text”以外はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[Visible] [On Visible] [Off Visible] *1	[Yes]を選択すると、Kioskでテキストを表示します。
[Text] [On Text] [Off Text] *1	テキストを設定します。
[Font]	テキストのフォントを設定します。
[Color] [On Color] [Off Color] *1	テキストの色を設定します。
[Vertical Alignment]	テキストの垂直位置を選択します。
[Horizontal Alignment]	テキストの水平位置を選択します。
[Direction]	テキストの向きを設定します。

*1 ウィジェットにステータスがあるときは、ステータスごとに設定できます。

16.1.5. Label / Value Level

ウィジェットの外側に表示する文字列です。
 “Text”以外はスタイルに関する情報です。

Property	Value
[Visible]	[Yes]を選択すると、Kioskでラベルを表示します。
[Text]	ラベルを編集します。
[Font]	ラベルのフォントを設定します。
[Font Color]	ラベルの色を設定します。
[Position]	ラベルの場所を選択します。
[Alignment]	ラベルの位置を選択します。
[Margin]	ラベルとウィジェットの距離を設定します。

16.2. Recall Button

機器のプリセットやシーンのリコールに使用します。

同一機器または複数機器のプリセットやシーンを最大16個までアサインすることができます。

Control

Property	Value
[Control]	[...]ボタンをクリックすると、「Target Editor」ダイアログが開きます。 アサインされているプリセットやシーンを確認/編集できます。
[Indicator Mode]	Pressを選択すると、常に[On Color]の色になります。 Statefulを選択すると、機器で該当する番号のプリセット/シーンがリコールされているときに[On Color]の色で点灯します。
[Preset No] [Scene No] [Scene A/B No] [Param. Set ID / Snapshot No]	プリセット/シーン/スナップショットの番号を指定します。

DME/MRX7-Dのスナップショットは、ProVisionaire Design>DME>「Parameter Sets」エリアからSnapshotをドラッグ&ドロップしてください。

16.3. Page Control Button

Kioskで他のページに移動するために使用します。

Control

Property	Value
[Page Control Action]	Page Jump - [Page Name]で指定したページに移動します。 Home - Homeページに移動します。 Close - 表示中のKioskを閉じます。 Screen Lock - ロック画面に遷移します。
[Page Name]	[Page Control Action]でPage Jumpを選択したときに有効です。 クリックすると、移動先のページを指定できます。

16.4. Direct Set Button

機器のパラメーターを[Press Value]で指定した値に変更します。
同一機器または複数機器のパラメーターを最大16個までアサインすることができます。

Control

Property	Value
[Control]	[...]ボタンをクリックすると、「Target Editor」ダイアログが開きます。 アサインされているパラメーターを確認/編集できます。
[Press Value]	機器に設定する値を設定します。 複数のパラメーターがアサインされているときは、「Target Editor」ダイアログで確認/変更してください。 ダイアログはControlの[...]ボタンをクリックすると開きます。
[Indicator Mode]	Statefulを選択すると、機器が指定した値になっているときに点灯します。

Direct Set Buttonは、ボタンをクリックすると、PropertiesのPress Valueで設定したパラメーター値を機器に送信します。

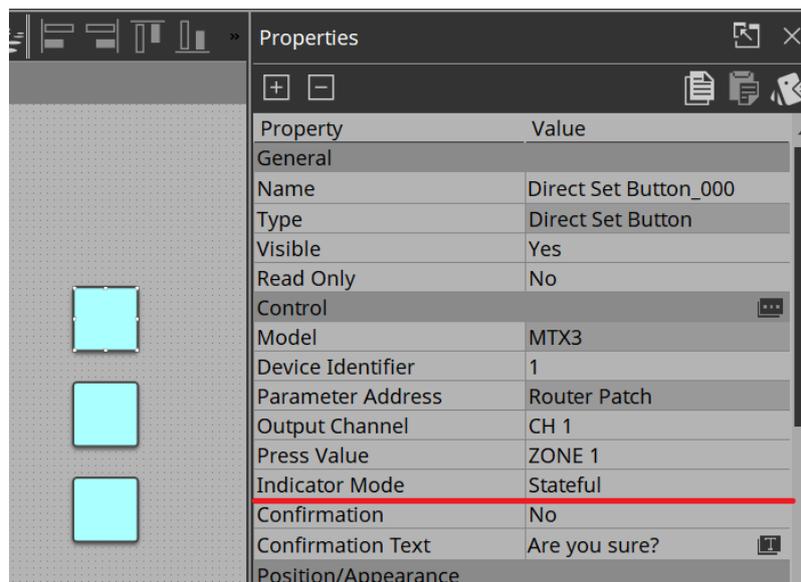
このとき、送信したパラメーターの値と制御対象の機器の値が一致すると、ボタンがOn Colorで設定した色に点灯します。一致していないときは、Off Colorで設定した色に点灯します。

複数のDirect Set Buttonを配置することでラジオボタンのような動作を実現できます。

具体的には、MTX3/MTX5-D/MRX7-D/DMEシリーズのRouterやSource Selectorのパラメーターを制御することに適しています。

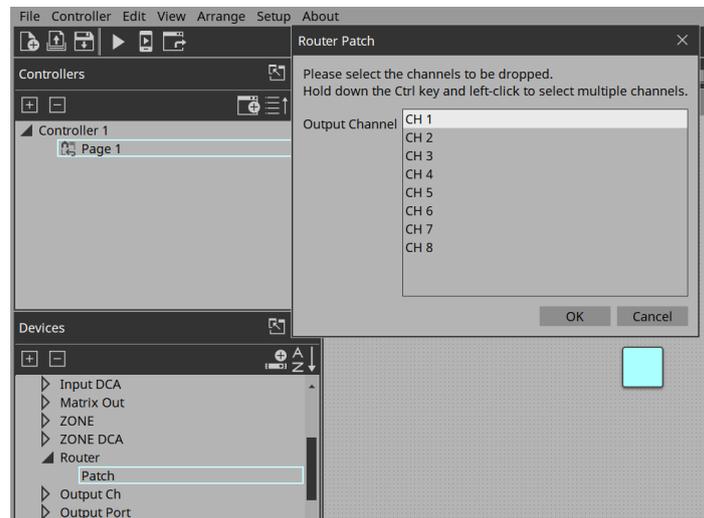
以下は、具体的な例です。

Direct Set Buttonを配置し、PropertiesのIndicator ModeをStatefulに設定します。

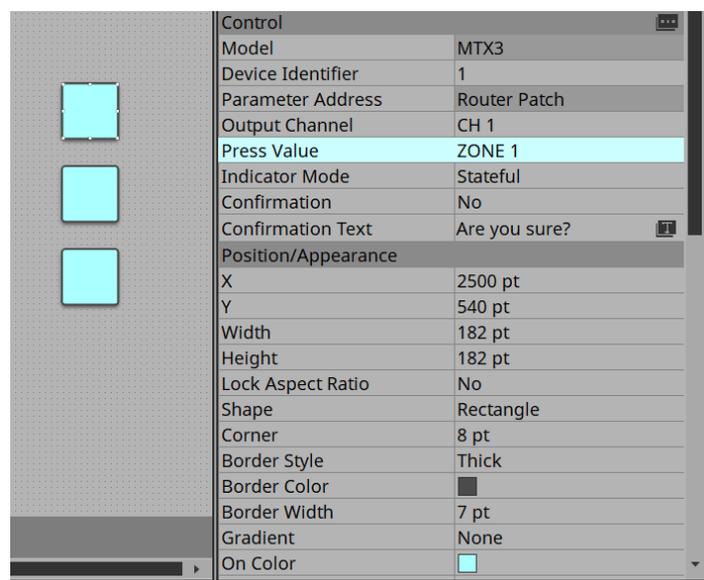


同じ設定のボタンを複数個配置します。

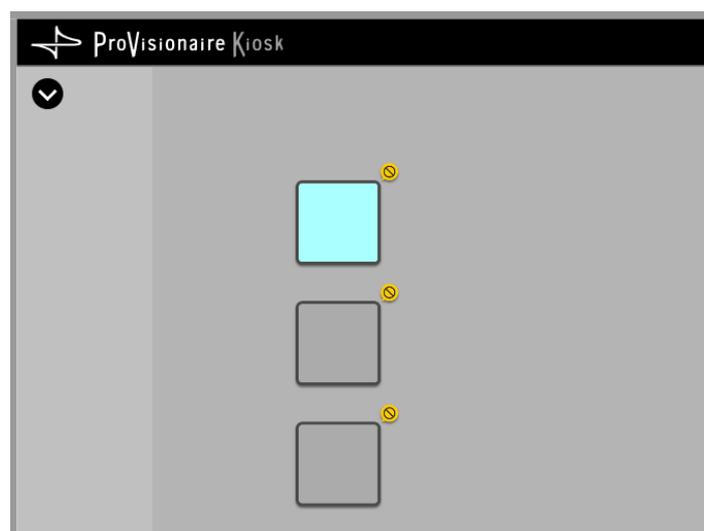
すべてのボタンにRouter>Patchの1Chをアサインします。



PropertiesのPress ValueでZone1を選択します。その他のボタンはZone2、Zone3をそれぞれ選択します。



Kioskで実行するとクリックするとオン状態のボタンだけ点灯します。



16.5. On/Off Button

機器のパラメーター値をオン/オフで切り替えます。

同一機器または複数機器のパラメーターを最大16個までアサインすることができます。

複数パラメーターを割り当てられたボタンをマルチボタンと呼びます。

すでにパラメーターが割り当てられているボタンにパラメーターをドラッグ&ドロップすると、置き換え

る(Replace)か、追加する(Add)か、取り消す(Cancel)かの確認ダイアログが表示されます。

すでにパラメーターがアサインされたボタンを複数同時選択して、EditメニューのCreate Multi Buttonを選択すると新規にマルチボタンが生成されます。

Control

Property	Value
[Control]	[...]ボタンをクリックすると、「Target Editor」ダイアログが開きます。 アサインされているパラメーターを確認/編集できます。
[On Value] [Off Value]	ボタンがオンまたはオフになったとき機器に設定する値を設定します。 複数のパラメーターがアサインされているときは、「Target Editor」ダイアログで確認/変更してください。 ダイアログはControlの[...]ボタンをクリックすると開きます。
[Switching Mode]	ボタンをラッチ型にするかアンラッチ型にするか選択します。

16.6. Inc/Dec Button

機器のパラメーター値を増減させます。

Control

Property	Value
[Inc/Dec Step]	クリックするたびに増減する値をステップ単位で設定します。 プラス値のときにパラメーターの値が増え、マイナス値のときに減ります。
[Repeat]	[Yes]を選択すると、ボタンの長押しで連続増加/連続減少ができます。
[Rotation]	[Yes]を選択すると、値が最大値に達したときにクリックすると、値を最小値に変更します。 [Yes]を選択すると、値が最小値に達したときにクリックすると、値を最大値に変更します。  注意 音量系のパラメーター(Levelなど)を割り当ててYesに設定すると、最少値から最大値に変化したときに、音量が突然大きくなり、爆音の原因になることがあります。
[Upper Bound Value]	最大値を設定します。
[Lower Bound Value]	最小値を設定します。

16.7. Direct Play Button

MTX/MRX7-DシリーズにセットされているSDカードまたはUSBメモリー内のファイルを再生/停止します。

Control

Property	Value
[Action]	Play - ファイルを再生します。 Pause - 一時停止します。
[Play Target]	Play 1 Song - [SD Card:/]で指定したファイルを再生します。 Play Folder - [SD Card:/]で指定したフォルダ内のファイルを再生します。
[Play Mode]	ファイルの再生方法を指定します。 Normal - [SD Card:/]で指定したファイルまたはフォルダ内のファイルを1回再生します。 Repeat - [SD Card:/]で指定したファイルまたはフォルダ内のファイルを繰り返し再生します。
[Go to the top when playback stops]	停止後、再生したときの動作を指定します。 Yes - 指定したファイル/フォルダを先頭から再生します。 No - 停止した位置から再生します。
[Interval Time]	ファイル間の再生間隔を設定します。

Property	Value
[SD CARD:/]	MTXやMRX7-D、DME10/7のSDカードまたはDME5/3のUSBメモリーに入っているファイルまたはフォルダーを指定します。

16.8. Play Info

MTX/MRX7-D/DMEシリーズにセットされているSDカードまたはUSBメモリー内の選択中のファイル情報を表示します。

Propertiesは「[ウィジェット共通の項目](#)」を参照してください。

16.9. Transport

MTX/MRX7-D/DMEシリーズにセットされているSDカードまたはUSBメモリー内の選択中のファイルをコントロールします。

Propertiesは「[ウィジェット共通の項目](#)」を参照してください。

16.10. Track List

MTX/MRX7-D/DMEシリーズにセットされているSDカードまたはUSBメモリー内のファイル/フォルダを選択します。

Propertiesは「[ウィジェット共通の項目](#)」を参照してください。

16.11. Slider

主にレベル系のパラメーターを変更します。

同一機器または複数機器のパラメーターを最大16個までアサインすることができます。

複数パラメーターを割り当てられたスライダをマルチスライダーと呼びます。

すでにパラメーターが割り当てられているスライダーにパラメーターをドラッグ&ドロップすると、置き換える(Replace)か、追加する(Add)か、取り消す(Cancel)かの確認ダイアログが表示されます。

すでにパラメーターがアサインされたスライダーを複数同時選択して、EditメニューのCreate Multi Sliderを選択すると新規にマルチスライダーが生成されます。

Control

Property	Value
[Control]	[...]ボタンをクリックすると「Target Editor」ダイアログが開きます。アサインされているパラメーターを確認/編集できます。
[Upper Bound Value]	最大値を設定します。
[Lower Bound Value]	最小値を設定します。

Appearance/Position

スタイルに関する情報です。

Property	Value
[Direction]	ウィジェットの向きを選択します。
[Rounded Corners]	[Yes]を選択すると、スリットの角を丸めます。
[Knob Style]	ノブの形状を選択します。

Property	Value
[Knob Width]	ノブの幅を設定します。
[Knob Image]	ノブの画像を設定します。

Scale

スタイルに関する情報です。

Property	Value
[Position]	目盛りの位置を選択します。
[Width]	目盛りの太さを設定します。
[Color]	目盛りの色を設定します。
[Value Visible]	[Yes]を選択すると、目盛りに数字を表示します。
[Font]	目盛りの数字のフォントを選択します。
[Font Color]	目盛りの数字の色を選択します。

16.12. Dial

主にレベル系のパラメーターを変更します。

Control

Property	Value
[Band Base Value]	ウィジェットを配置したときに設定する初期値を設定します。

Appearance/Position

スタイルに関する情報です。

Property	Value
[Dial Type]	ダイアルの形状を選択します。
[Start Angle]	最小値のときのノブの位置を設定します。
[End Angle]	最大値のときのノブの位置を設定します。
[Knob Color]	ノブ内部の色を設定します。
[Background Color]	ノブ内部の背景色を設定します。
[Grip Shape]	グリップの形状を選択します。
[Grip Size]	グリップの大きさを設定します。
[Grip Color]	グリップの色を設定します。
[Band On Color]	現在値以下のバンド内部の色を設定します。
[Band Off Color]	現在値より上のバンド内部の色を設定します。

16.13. Value

パラメーターの現在値を表示するウィジェットです。
Propertiesは「[ウィジェット共通の項目](#)」を参照してください。

16.14. Line Edit

パラメーターの値を直接入力するウィジェットです。
Propertiesは「[ウィジェット共通の項目](#)」を参照してください。

16.15. Meter

機器のメーター値を表示します。

Control

Property	Value
[Meter Type]	メーターの表示方法を選択します。
[Bar Base Point]	バーの塗りつぶし開始位置を選択します。

Scale

スタイルに関する情報です。

Property	Value
[Position]	目盛りの位置を選択します。
[Width]	目盛りの太さを設定します。
[Color]	目盛りの色を設定します。
[Value Visible]	目盛りに数字を表示するかどうかを選択します。
[Font]	目盛りの数字のフォントを選択します。
[Font Color]	目盛りの数字の色を選択します。

16.16. Indicator

機器のメーターの状態を表示します。

Control

Property	Value
[Indication Threshold]	オン/オフを切り替えるしきい値です。 しきい値以上になるとオンになり、しきい値未満になるとオフになります。

16.17. Line

Control

Property	Value
[Angle]	ウィジェットを配置したときの下端を基準にして、ウィジェットの角度を表示します。 Angleはウィジェットを選択したときに表示される両端の□をドラッグして変更してください。
[Length]	ウィジェットの長さを表示します。 Lengthはウィジェットを選択したときに表示される両端の□をドラッグして変更してください。
[Style]	ウィジェットの形状を選択します。

16.18. Rectangle / Ellipse / Polygon

タイトル、コメントなどを配置するのに便利なウィジェットです。テキストの他にロゴなどのイメージを貼り付けることもできます。

Propertiesは「[ウィジェット共通の項目](#)」を参照してください。

16.19. Image

svg, png, bmp, jpg, jpegの画像ファイルを表示します。

ウィジェットを配置したとき「Select Image」ダイアログが表示されます。

配置後は、Propertiesの[Image]のValue欄で画像をクリックすると設定を変更できます。

[Image]のValue欄のゴミ箱ボタンをクリックすると該当イメージの表示を解除します。

このとき画像は削除されることなくプロジェクトファイル内に残っています。ファイル内から削除する場合は、「Imported Images」ダイアログを使って削除してください。

16.20. System Monitor

「ProVisionaire Edge」が収集した機器の稼働情報を確認できます。機器に障害が発生すると色が変わります。

情報収集元のProVisionaire Edgeは、SetupメニューのLogで設定してください。

Propertiesは「[ウィジェット共通の項目](#)」を参照してください。

「ProVisionaire Edge」については、「ProVisionaire Edgeユーザーガイド」を参照ください。

16.21. Contact List / Recent List / Dialer

RM-CRに関するウィジェットです。

Propertiesは「[ウィジェット共通の項目](#)」を参照してください。

16.22. SourceAndPGM / Album Art

MusicCastに関するウィジェットです。

Propertiesは「[ウィジェット共通の項目](#)」を参照してください。

17. ダイアログやウィンドウ

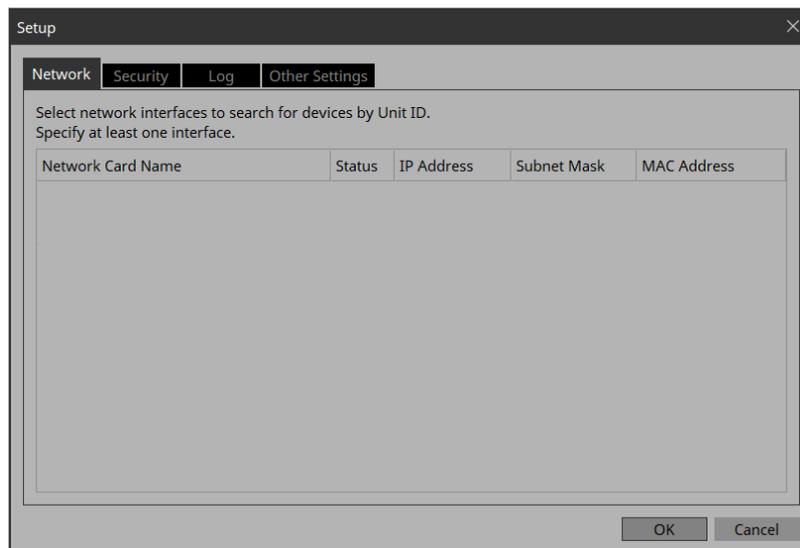
ここではダイアログやウィンドウについて説明します。

17.1. 「Setup」ダイアログ

プロジェクトやコントローラー全体に関わる設定をするダイアログです。
[Setup]メニューまたはタイトルバーの[Setup]  から開きます。

[Network]タブ

機器と通信するためのコンピューターのネットワークインターフェースカード(以下「ネットワークカード」と呼びます)を選択します。



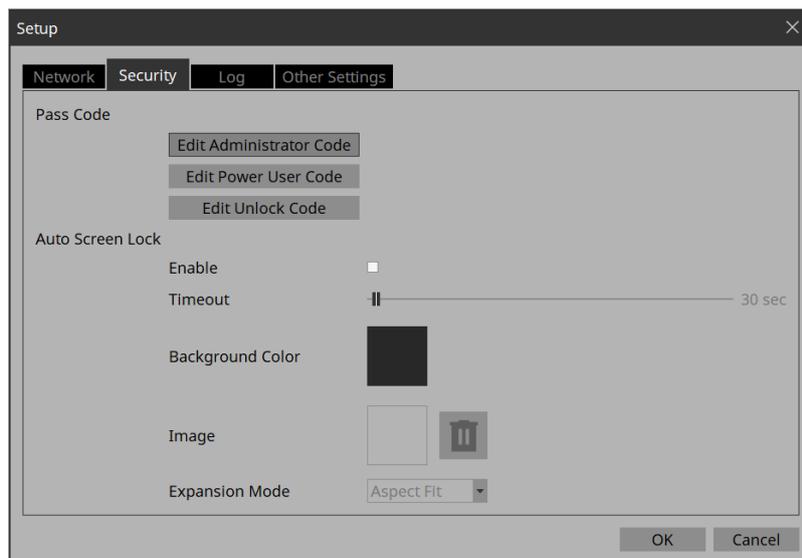
ネットワークカードは最大8個まで選択できます。複数のネットワークカードを使用する場合には、それぞれのネットワークアドレスが独立している必要があります。

ネットワークに接続されていない場合は、[Cancel]ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

- **[Network Card Name]**
ネットワークカードの名前が表示されます。
- **[Status]**
ネットワークカードの状態(UpまたはDown)が表示されます。
- **[IP Address]および[Subnet Mask]**
ネットワークカードに割り当てられているIPアドレスおよびサブネットマスクが表示されます。
物理的に結線されていないなどの理由で「0.0.0.0」と表示されているネットワークカードは使用できません。
- **[MAC Address]**
ネットワークカードのMACアドレスが表示されます。
- **[OK]ボタン**
設定を更新し、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**
設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

[Security]タブ

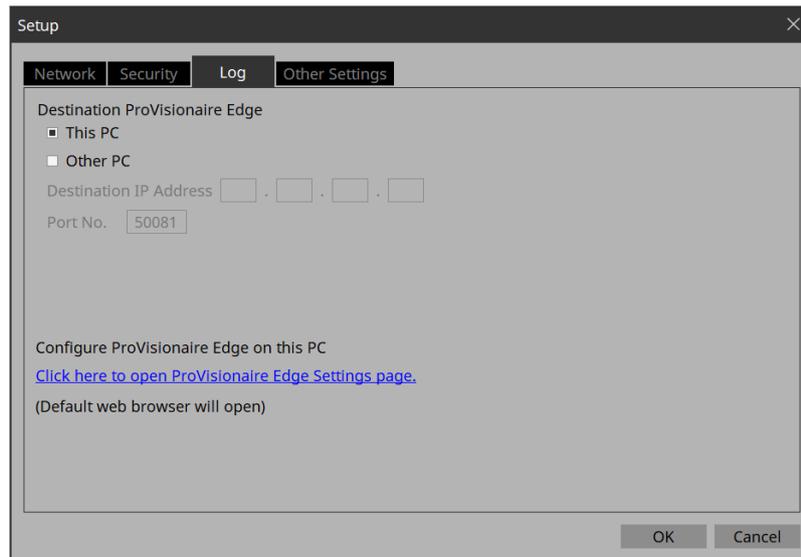
セキュリティに関する設定をします。



- Pass Code [Edit Administrator Code]/[Edit Power User Code]/[Edit Unlock Code]ボタン**
 クリックすると、「Edit Pass Code」ダイアログが表示されます。
 初めてパスコードを入力するときは[Enter Current Pass Code]欄は空欄でパスコードを設定してください。
- Auto Screen Lock [Enable]チェックボックス**
 チェックを入れると、スクリーンロックに関する設定が有効になります。
- Auto Screen Lock [Timeout]スライダー**
 スクリーンロックするまでの時間を設定します。
- Auto Screen Lock [Background Color]ボタン**
 クリックすると、「Select Color」ダイアログが表示されます。イメージを画面いっぱいにならないときの背景色を設定してください。
- Auto Screen Lock [Image]ボタン**
 クリックすると、「Select Image」ダイアログが表示されます。スクリーンロック時に表示する画像ファイルを選択してください。
- Auto Screen Lock Image ゴミ箱ボタン**
 Screen Lock [Image]ボタンで設定したイメージを解除します。解除をしても、イメージはプロジェクトファイルに取り込まれたままとなります。
- Auto Screen Lock [Expansion Mode]リストボックス**
 リストの中から、表示領域へのイメージの配置方法を選択します。選択肢の内容については「[Expansion Modeについて](#)」を参照してください。
- [OK]ボタン**
 設定を更新し、ダイアログを閉じます。
- [Cancel]ボタン**
 設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

[Log]タブ

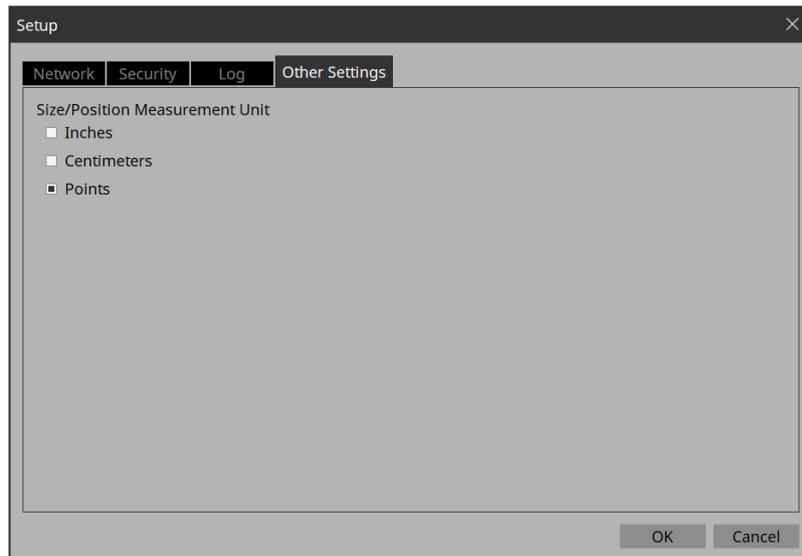
接続先のProVisionaire Edgeを指定します。



- [This PC]ラジオボタン**
 現在操作しているコンピューターにインストールされているProVisionaire Edgeが収集した機器の稼働情報を「System Monitor」ウィンドウで表示するようにします。
- [Other PC]ラジオボタン**
 他のコンピューターにインストールされているProVisionaire Edgeが収集した機器の稼働情報を「System Monitor」ウィンドウで表示するようにします。
- [Destination IP Address]テキストボックス**
 [Other PC]ラジオボタンを有効にした場合のコンピューターのIPアドレスを入力します。
- [Port No.]テキストボックス**
 他のコンピューターで「ProVisionaire Edge」が使用しているポート番号を入力します。インストール時の初期値は50081です。
 他のコンピューターにて「ProVisionaire Edge」が使用しているポート番号を手動で変更した場合は、他のコンピューターのファイアーウォールの設定も変更してください。
- [Click here to open ProVisionaire Edge Settings page.]リンク**
 クリックすると、現在操作しているコンピューターにインストールされている「ProVisionaire Edge」の「ProVisionaire Edge Settings」画面を規定のWebブラウザで表示します。
 Internet Explorerが規定のWebブラウザに設定されていると、表示ができませんので、他のWebブラウザを規定のWebブラウザにしてください。
- [OK]ボタン**
 設定を更新し、ダイアログを閉じます。
- [Cancel]ボタン**
 設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

[Other Settings]タブ

ウィジェットのサイズや位置情報の単位を設定します。
この設定はプロジェクトファイルではなく、コンピューターに保持されます。



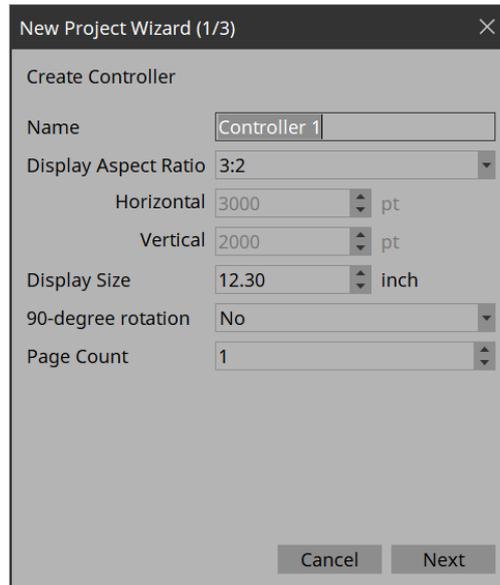
- **「Size/Position Measurement Unit」ラジオボタン**
ウィジェットのサイズや位置情報を表示する単位を選択します。
- **[OK]ボタン**
設定を更新し、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**
設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

17.2. 「New Project Wizard」ダイアログ

新しくプロジェクトを作成するときのダイアログです。
[File]メニューの[New Project]から開きます。

1/3: Create Controller

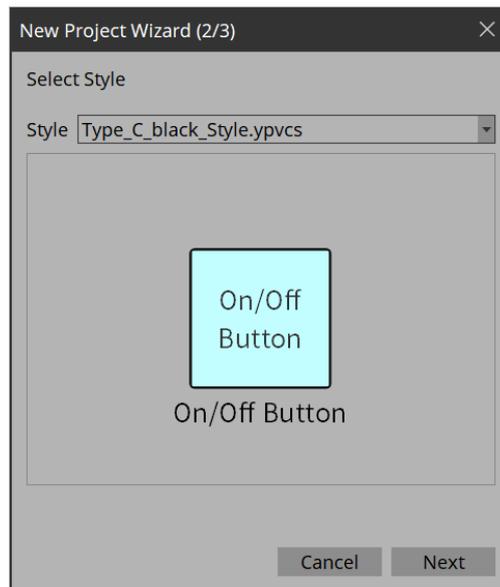
コントローラーに関する設定をします。



- **「Name」テキストボックス**
コントローラーの名前を設定します。
- **「Display Aspect Ratio」スピンドロップボックス**
画面比率です（横：縦）。
Kioskがインストールされる施工先のコンピューター、タブレット等の画面比にあわせてください。
Customを選択したときはHorizontal（横）、Vertical（縦）を直接入力してください。
あとでコントローラーの「Properties」で変更できます。
 - **Horizontalスピンドロップボックス**
Display Aspect RatioがCustomのとき、コントローラーの横サイズを指定します。
 - **Verticalスピンドロップボックス**
Display Aspect RatioがCustomのとき、コントローラーの縦サイズを指定します。
- **「Display Size」リストボックス**
コントローラーの対角線の長さです。
Kioskを起動するデバイスのディスプレイサイズにあわせてください。
ウィジェットの大きさや位置をcmやinchで表示するための基準となります。
- **「90-degree rotation」リストボックス**
(Yes)を選択するとコントローラーの縦、横を入れ替えます。
- **[Page count]スピンドロップボックス**
コントローラーのページ数を設定します。
- **「Cancel」ボタン**
設定を破棄してダイアログを閉じます。
- **「Next」ボタン**
次の設定ページに移動します。

2/3: Select Style

コントローラ作成時に使用するスタイルファイルを選択します。



- **[Style]**

スタイルを選択します。

スタイルは、あとで[Setup]メニューの[Style]でも変更できます。

"User"を選択するとファイル選択ダイアログが開きます。個々で作成したスタイルファイルを選択することができます。

- **[Preview]**

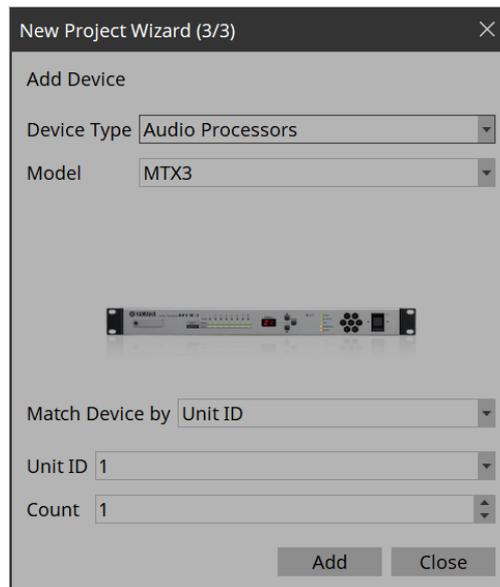
ウィジェットのサンプルを表示します。

- **「Next」ボタン**

次の設定ページに移動します。

3/3: Add Device

プロジェクトに登録する機器を選択します。

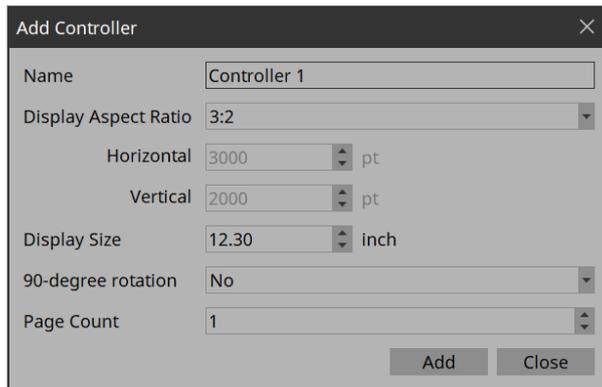


- **[Device Type]リストボックス**
機器の種類を選択します。
- **[Model]リストボックス**
機器を選択します。
- **[Match Device by]リストボックス**
ネットワーク上の機器の検索方法を選択します。
[Unit ID]を選択すると下に[Unit ID]リストボックスと[Count]スピンドボックスが表示されます。
[IP Address]を選択すると下に[IP Address]テキストボックスが表示されます。
Kioskと異なるサブネットにある機器を操作する場合は、[IP Address]を選択してください。
- **[Unit ID]リストボックス**
登録する機器の先頭UNIT IDを選択します。
- **[Count]スピンドボックス**
登録する機器の台数を設定します。
- **[IP Address]テキストボックス**
登録する機器のIPアドレスを設定します。
- **[Add]ボタン**
機器を登録して、ダイアログを閉じます。
他の機器を登録する場合は、「Devices」エリアで[Add Device]を実行してください。
- **[Close]ボタン**
機器を登録せずに、ダイアログを閉じます。

17.3. 「Add Controller」ダイアログ

プロジェクトにコントローラーを追加します。
「Controllers」エリアの「Add」から開きます。

設定の詳細については、[「New Project Wizard」ダイアログ](#)を参照ください。



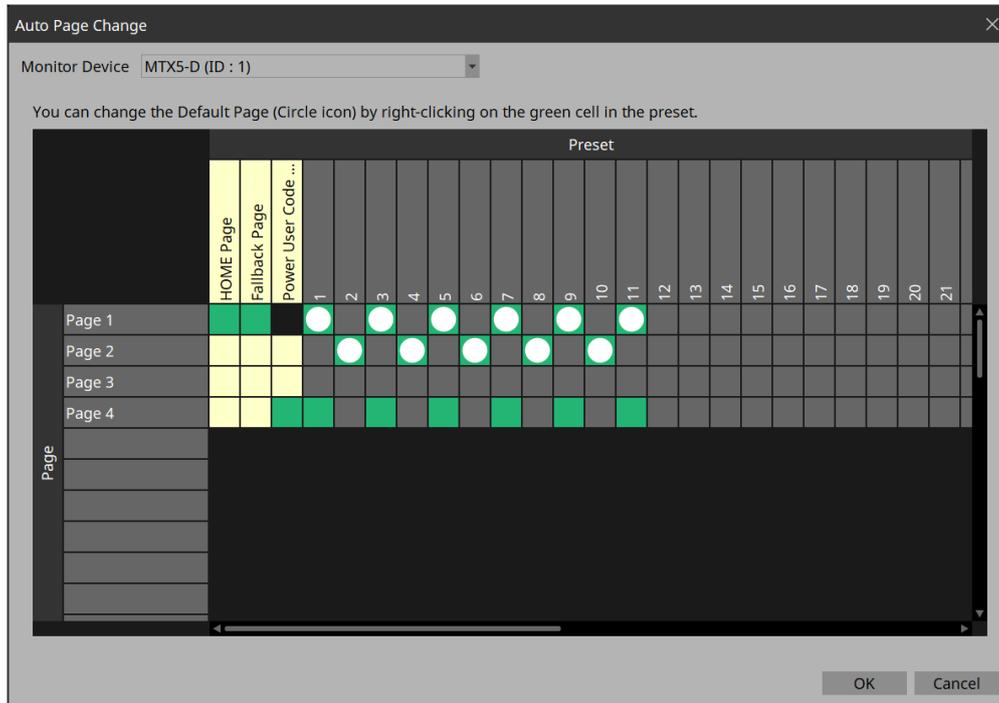
Name	Controller 1
Display Aspect Ratio	3:2
Horizontal	3000 pt
Vertical	2000 pt
Display Size	12.30 inch
90-degree rotation	No
Page Count	1

Add Close

17.4. 「Auto Page Change」ダイアログ

任意の機器でリコールされたプリセット番号に応じて、Kiosk上に表示するページセットを切り替えることができます。

[Controller]メニューの[Auto Page Change]またはControllerのProperties > Auto Page Changeから開きます。



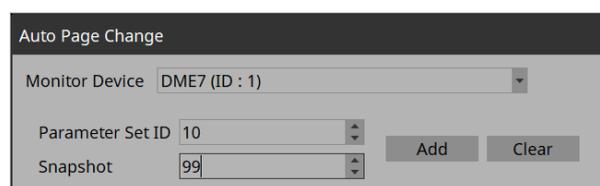
• Monitor Device

プリセットリコールによるページ切り替えの対象となる機器を選択します。

Devicesに登録されている機器から選択します。対象機器は、MTX3/MTX5-D/MRX7-D/DMEシリーズ/RM-CRです。

設定すると任意の機器の任意のプリセットをリコールすると、Kioskのタイトルバー>Page Listで特定のページのみ選択できるようになります。

DMEシリーズは、あらかじめSnapshotに登録する必要があります。



[Clear]ボタンをクリックすると、Preset欄で選択中のSnapshotを削除できます。

• Page行

Controllerに追加されているページを表示します。

• Home Page列

セルをクリックしてHomeとなるページを選択します。

• Fallback Page列

セルをクリックしてFallbackとなるページを選択します。

• Power User Code Required列

セルをオンにしたページに移動するときパワーユーザーコードによる認証を行います。

Home PageやFallback Pageがオンになっているページは選択できません。

- **Preset列**

Monitor Deviceのプリセットを表示します。

ひとつのプリセットに対して複数のページを選択することができます。

選択したページは、プリセットがリコールされたときに、タイトルバーのPage Listボタンに表示されま

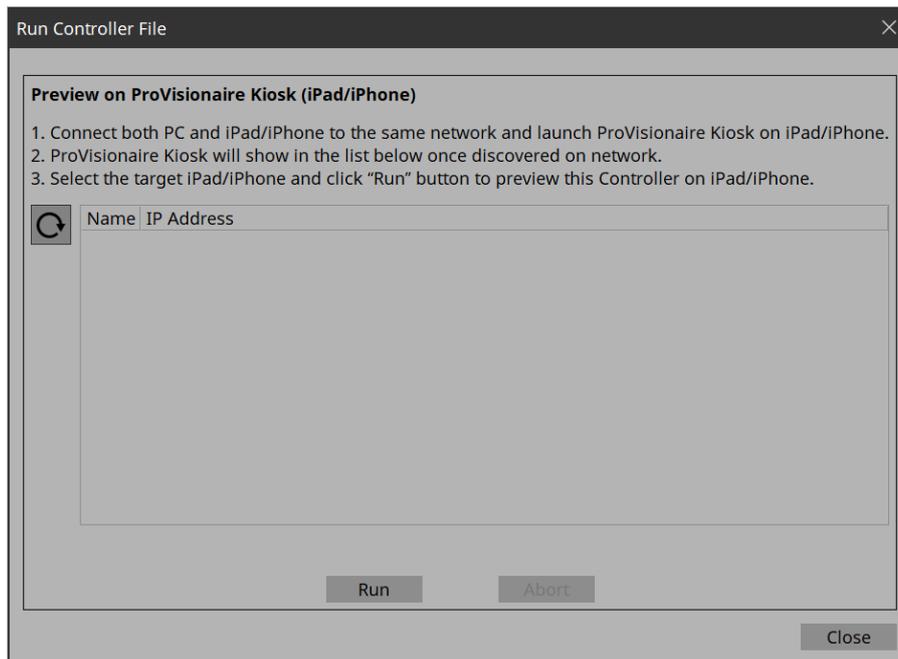
す。

選択中のページを右クリックするとDefault Pageに設定されます。

Default Pageとは、プリセットがリコールされたときに最初に表示されるページです。

17.5. 「Run Controller File」ダイアログ

作成中のコントローラを同一ネットワーク内のKiosk(iPad/iPhone)上でプレビューします。
[Controller]メニューの[Run Controller File]から開きます。

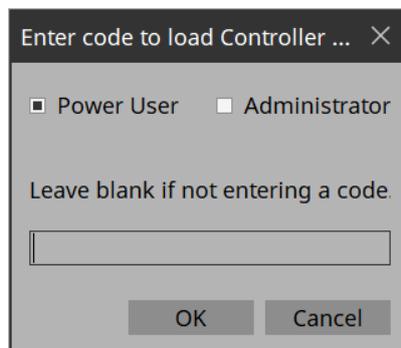


- **🔄(Refresh)ボタン**
ネットワーク内のKioskを再検索し、リストを更新します。
- **[Name]/[IP Address]**
「Setup」ダイアログのNetworkタブで選択されているネットワークカードと同じネットワークに接続されているiPad/iPhoneの情報を表示します。
コントローラファイルの送信先を選択してください。
- **[Run]ボタン**
選択されたiPad/iPhoneにコントローラファイルを送信します。受信したKioskは確認画面を表示します。
- **[Abort]ボタン**
コントローラファイルの送信を中断します。
- **[Close]ボタン**
ダイアログが閉じます。

17.6. 「Select Controllers to Import」ダイアログ

他のプロジェクトからコントローラーファイルをインポートするダイアログです。
[Controller]メニューの[Import]から開きます。

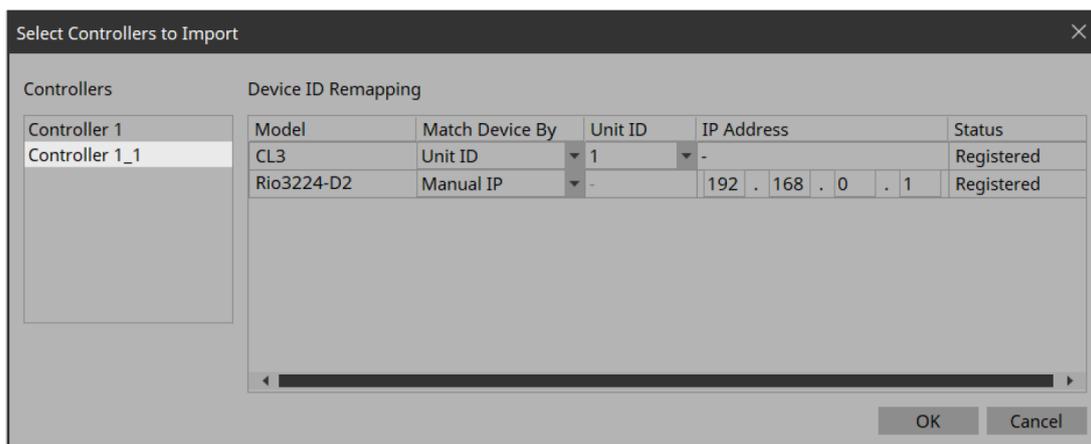
ファイルを選択するとパスコードを選択するダイアログが開きます。



- **Leave blank if not entering a code.**

インポートするファイルに、パスコードが設定されている場合は、パスコードを入力します。
パスコードを設定していない場合は、そのままOKをクリックしてください。

[OK]ボタンをクリックすると、ダイアログが開きます。



- **Controllers**

プロジェクトファイルが持っているコントローラーのリストを表示します。インポートするコントローラーを選択します。コントローラーを選択すると、右側のDevice ID Remappingにコントローラーの中で使用されているデバイスを一覧表示します。

- **Device ID Remapping**

コントローラーをインポートする際に、使われている機器の識別情報を一括変換できます。

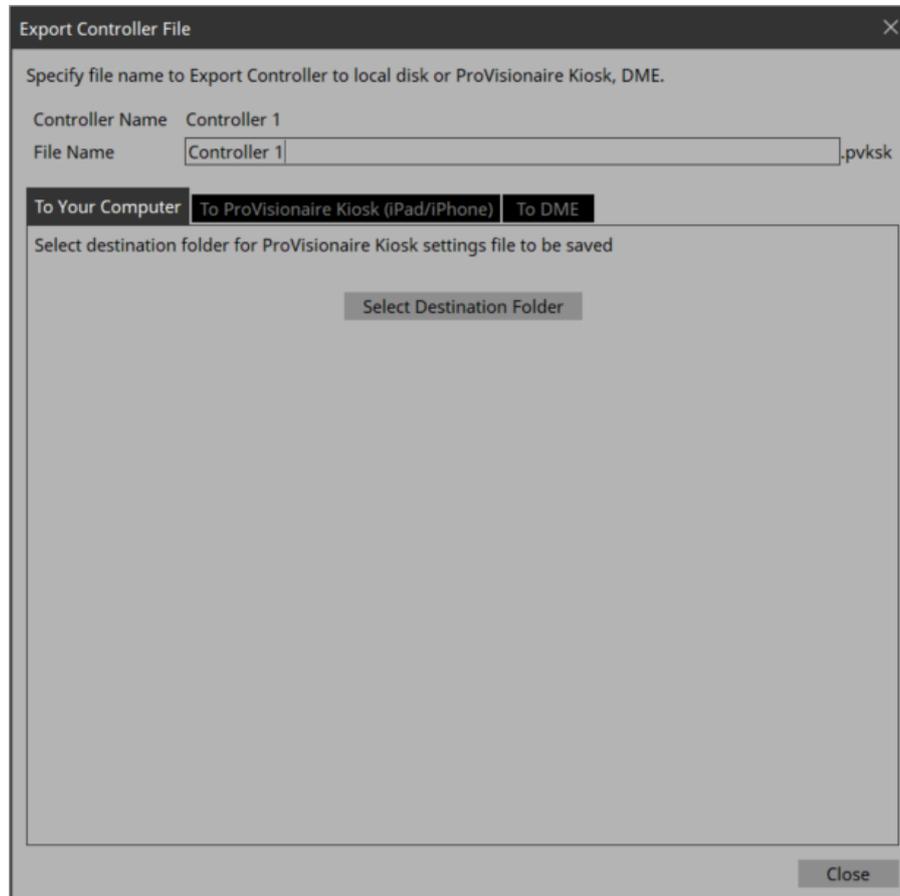
17.7. 「Export Controller File」ダイアログ

コンピューターにコントローラファイルを保存したり、iPad/iPhoneまたはDMEにコントローラファイルを送信したりします。

[Controller]メニューの[Export]またはツールバーのExport から開きます。



ProVisionaire Control PLUS V3.0時点ではDME5/3のみに送信できます。



- **[Controller Name]**
Controllersエリアで選択中のコントローラの名称を表示します。
- **[File Name]テキストボックス**
コントローラファイルの名称を入力します。
- **[Close]ボタン**
ダイアログを閉じます。

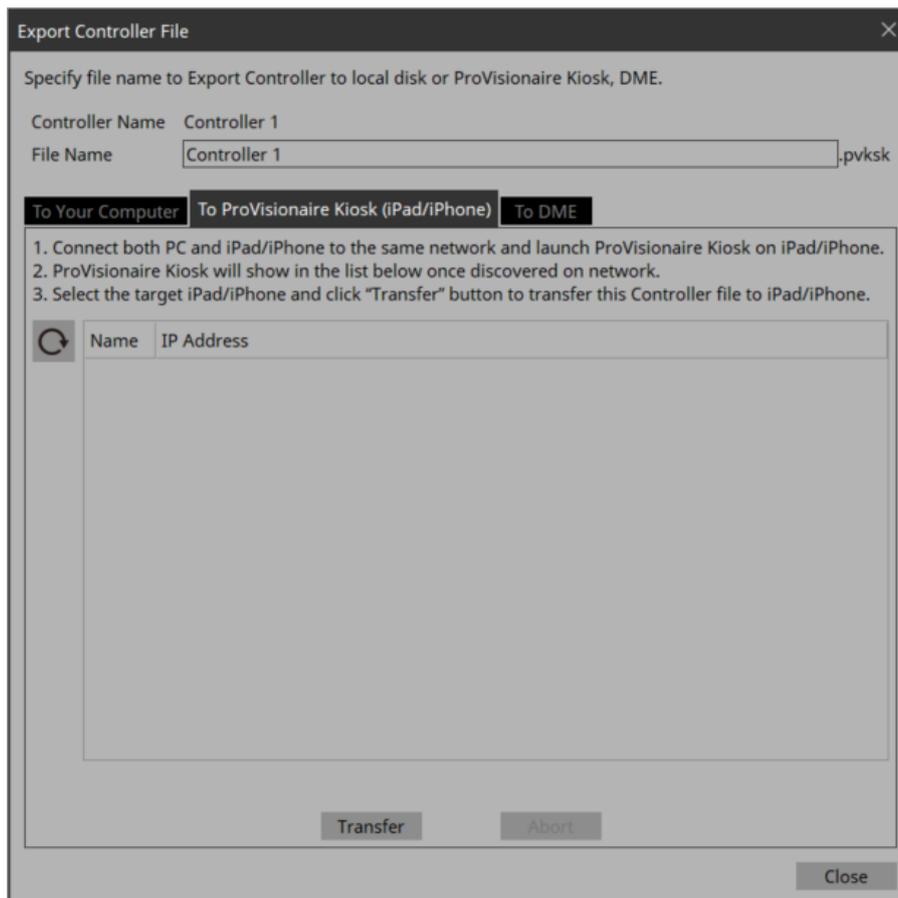
17.7.1. [To Your Computer]タブ

コントロールファイルをコンピューターに保存する場合に選択します。

- **[Select Destination Folder]ボタン**
コントローラファイルの保存先を選択し、保存します。

17.7.2. [To ProVisionaire Kiosk]タブ

コントローラーファイルをKioskが起動しているiPad/iPhoneに直接送信します。



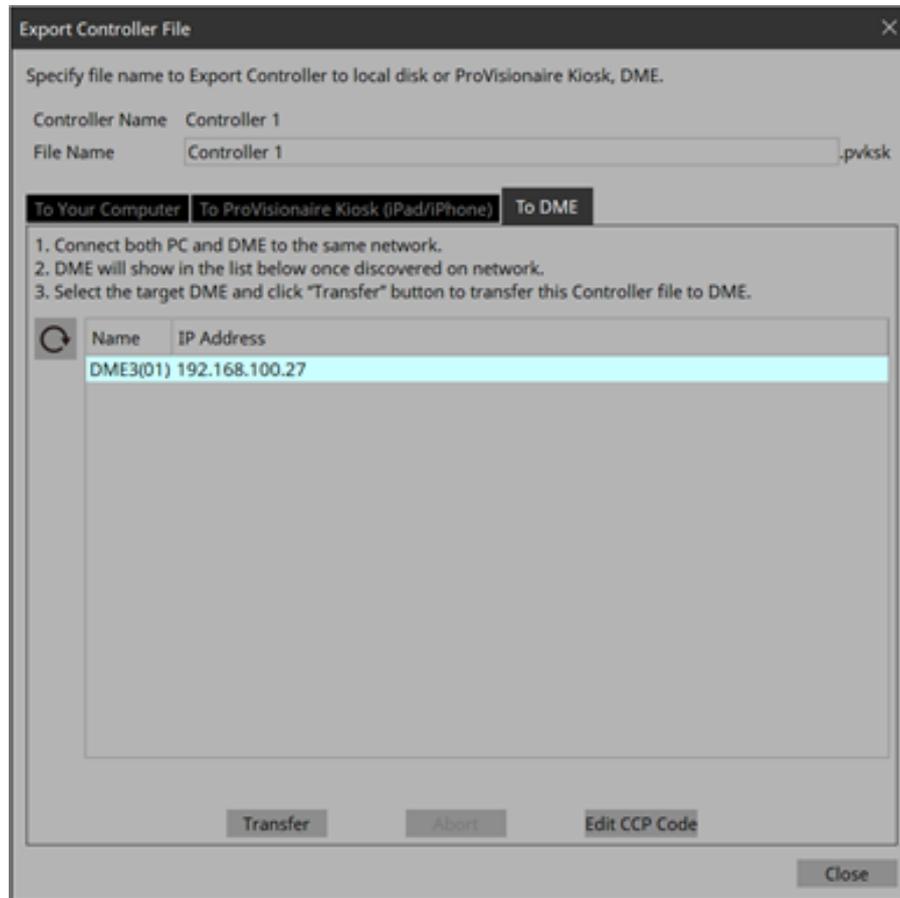
- **🔄(Refresh)ボタン**
iPadのリストを更新します。
- **[Name]/[IP Address]**
「Setup」ダイアログのNetworkタブで選択されているネットワークカードと同じネットワークに接続されているiPad/iPhoneの情報を表示します。
コントローラーファイルの送信先を選択してください。
- **[Transfer]ボタン**
選択されたiPad/iPhoneにコントローラーファイルを送信します。
- **[Abort]ボタン**
コントローラーファイルの送信を中断します。

17.7.3. [to DME]タブ

コントローラーファイルを同じネットワーク上にあるDMEに送信します。



ProVisionaire Control PLUS V3.0時点では、DME5/3のみに送信できます。



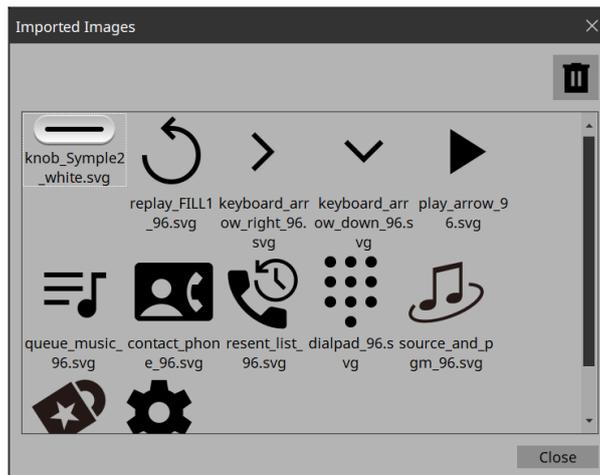
- 🔄(Refresh)ボタン**
 Networkに存在するDMEのリストを更新します。
- [Name]/[IP Address]**
 「Setup」ダイアログのNetworkタブで選択されているネットワークカードと同じネットワークに接続されているDMEの情報を表示します。コントローラーファイルの送信先を選択してください。
- [Transfer]ボタン**
 選択されたDMEにコントローラーファイルを送信します。
- [Abort]ボタン**
 コントローラーファイルの送信を中断します。
- [Edit CCP Code]ボタン**
 選択中のDMEのCustom Control Panel Code(CCP Code)を変更します。
 CCP Codeをセットすると、コントローラーファイルをDMEに転送するときにCCP Codeの入力が必要になります。



1台のDMEが保持できるコントローラーファイルは1ファイルのみです。DMEがファイルを保持しているときファイルをに送信すると上書きされます。

17.8. 「Imported Images」ダイアログ

プロジェクトファイル内の画像データの確認と削除をします。
[Edit]メニューの[Imported Images]から開きます。



- **イメージタイル**

プロジェクトファイル内の画像データを表示します。
データを削除する場合は、削除するファイルをタイル内で選択してください。

- **ゴミ箱ボタン**

イメージタイルで選択したデータをプロジェクトファイルから削除します。

- **[Close]ボタン**

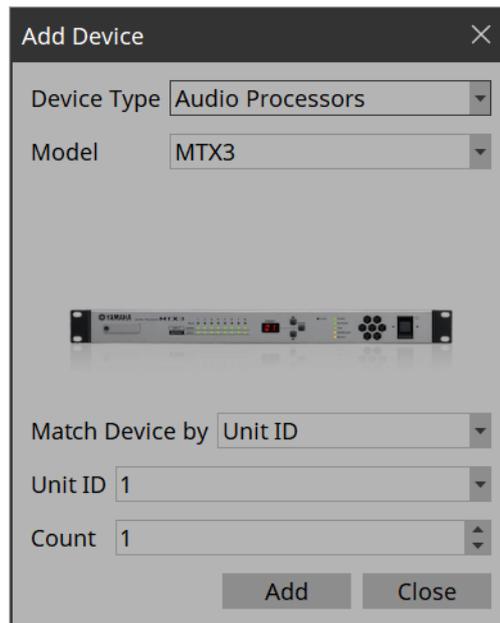
ダイアログを閉じます。



スタイルで使用している画像も含まれています。

17.9. 「Add Device」ダイアログ

プロジェクトに機器を追加します。
「Devices」エリアの[Add Device]  から開きます。



- **[Device Type]リストボックス**
機器の種類を選択します。
- **[Model]リストボックス**
機器を選択します。
- **[Match Device by]リストボックス**
ネットワーク上の機器の検索方法を選択します。
[Unit ID]を選択すると下に[Unit ID]リストボックスと[Count]スピンドボックスが表示されます。
[IP Address]を選択すると下に[IP Address]テキストボックスが表示されます。
Kioskと異なるサブネットにある機器を操作する場合は、[IP Address]を選択してください。
- **[Unit ID]リストボックス**
登録する機器の先頭UNIT IDを選択します。
- **[Count]スピンドボックス**
登録する機器の台数を設定します。
- **[IP Address]テキストボックス**
登録する機器のIPアドレスを設定します。
- **[Add]ボタン**
機器を登録して、ダイアログを閉じます。
- **[Close]ボタン**
機器を登録せずに、ダイアログを閉じます。

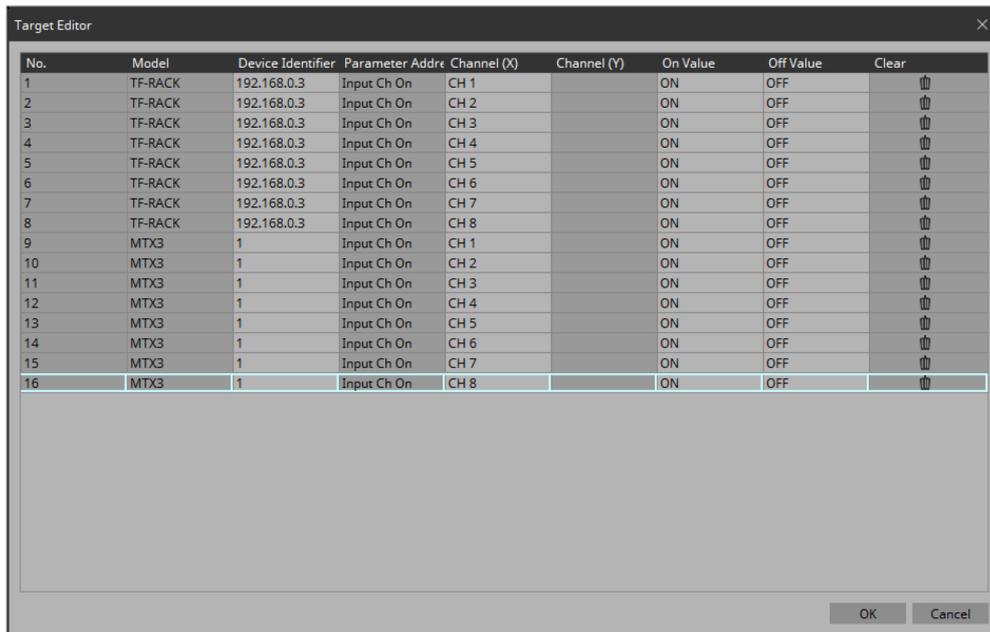


スタイルで使用している画像も含まれています。

17.10. 「Target Editor」ダイアログ

複数機器のパラメーターや同一機器の複数パラメーターを割り当てられたボタン(マルチボタン)またはスライダーのパラメーター情報を表示/変更します。

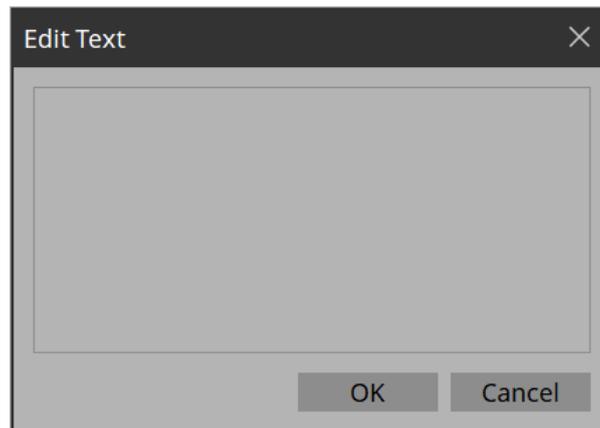
ウィジェットのRecall Button、Direct Set Button、On/Off Button、Sliderの「Properties」エリア > Controlの  ボタンから開きます。



- **[Model]**
割り当てられたパラメーターのモデル名を表示します。
- **[Device Identifier]**
割り当てられたパラメーターのUNIT IDまたはIPアドレスを表示/変更します。
- **[Parameter Address](「On/Off」ボタン、「Direct Set」ボタン、Slider)**
割り当てられたパラメーターの種類を表示します。
- **[Channel(X)]/[Channel(Y)](「On/Off」ボタン、「Direct Set」ボタン、Slider)**
割り当てられたパラメーターのチャンネル番号を表示/変更します。
- **[On Value]/[Off Value] (「On/Off」ボタン)**
ボタンがオンのときまたはオフのときに、割り当てられたパラメーターをオンにするかオフにするかを表示/変更します。
- **[Preset/Scene/Snapshot](「Recall」ボタン)**
割り当てられたパラメーターの種類を表示します。
- **[No.](「Recall」ボタン)**
プリセット、シーン、スナップショットの番号を表示/変更します。
- **[Press Value](「Direct Set」ボタン、Slider)**
ボタンを押したときに設定する値を表示/変更します。
- **[Clear]**
割り当てられたパラメーターを削除します。
- **[OK]ボタン**
設定を反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**
設定を反映せずに、ダイアログを閉じます。

17.11. 「Edit Text」ダイアログ

ラベルなどの文字を編集します。
各ウィジェットの「Properties」エリア>Textから開きます。



- **テキストボックス**
文字の入力や編集をします。改行できるものとできないものがあります。
- **[OK]ボタン**
文字を反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**
文字の入力や編集を反映せずに、ダイアログを閉じます。

17.12. 「Edit Device Identifier」ダイアログ

機器の識別情報を変更します。

ウィジェットの「Properties」エリア>Identifierから開きます。



- **[Match Device by]リストボックス**
ネットワーク上の機器の検索方法を指定します。
[Unit ID]を選択すると下に[Unit ID]リストボックスが表示されます。
[IP Address]を選択すると下に[IP Address]テキストボックスが表示されます。
機器を直接IPアドレスで検索します。“Unit ID”を選択した状態で、機器を発見できない場合は、“IP Address”を選択してください。
- **[Unit ID]リストボックス**
登録する機器の先頭UNIT IDを選択します。
- **[IP Address]テキストボックス**
登録する機器のIPアドレスを設定します。
- **[OK]ボタン**
設定を反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**
設定を反映せずに、ダイアログを閉じます。

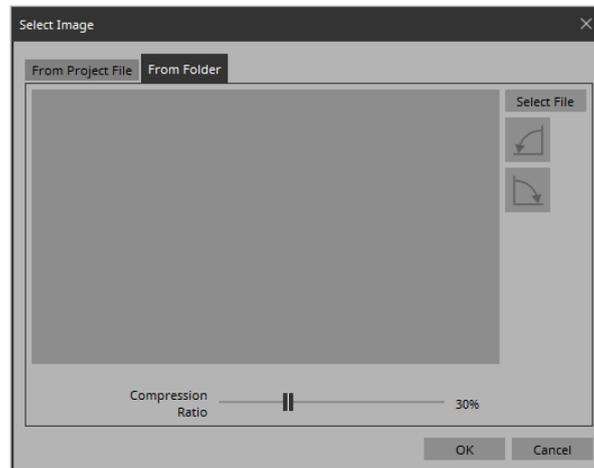
17.13. 「Select Image」ダイアログ

使用する画像データの選択をします。

各ウィジェットの「Properties」エリア> Image、On Image、Off Imageなどから開きます。

[From Folder]タブ

コンピューターのフォルダーから画像ファイルを選択します。

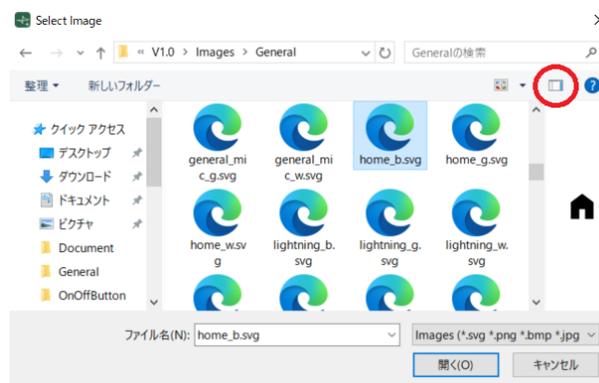


- **[Select File]ボタン**

クリックすると、画像ファイルを選択するダイアログが開きます。



ファイル選択ダイアログでは、SVGファイルのサムネイルを表示できません。エクスプローラーのプレビューウィンドウをご活用ください。



- **左回りに回転ボタン**

表示されている画像を左回りに90度回転させます。

- **右回りに回転ボタン**

表示されている画像を右回りに90度回転させます。

- **[Compression Ratio]スライダー**

プロジェクトファイル内に画像を取り込む際の圧縮率を設定します。SVG画像を選択したときは無効です。

- **[OK]ボタン**

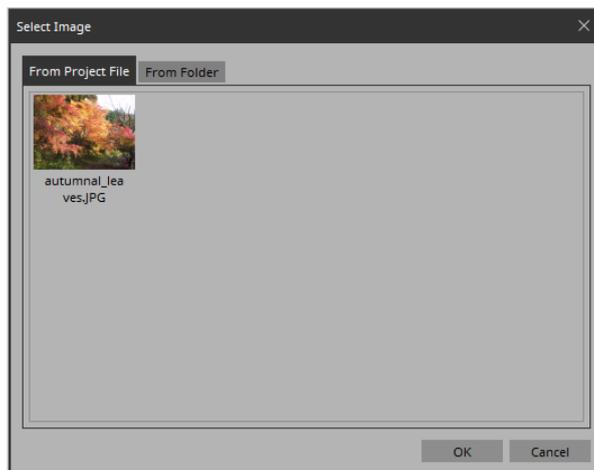
画像を反映して、ダイアログを閉じます。

- **[Cancel]ボタン**

画像を反映せず、ダイアログを閉じます。

[From Project File]タブ

プロジェクトファイル内から画像データを選択します。



- **イメージタイトル**
プロジェクトファイル内の画像データを表示します。使用する画像を選択してください。
- **[OK]ボタン**
選択した画像データを反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**
選択した画像データを反映せずに、ダイアログを閉じます。

17.14. 「Style」ダイアログ

ウィジェットを配置するときの外観（スタイル）を確認/編集します。
[Setup]メニューの[Style]から開きます。



- **[Preview]**
Widget-specificで選択したウィジェットのスタイルを表示します。
- **[Widget-specific]**
ウィジェットを選択すると、Previewのウィジェットが切り替わり、右側にそのウィジェットのスタイルの情報が表示されます。
- **[Property]/[Value]**
選択されているウィジェットのスタイル情報です。編集もできます。
- **[Import]ボタン**
スタイルファイルをロードします。スタイルを変更するとウィジェットを配置するときの外観が変わります。
- **[Export]ボタン**
現在のスタイルの情報をファイルとして保存します。
- **[Reset to Default]ボタン**
インストール直後のスタイルに戻します。
- **[OK]ボタン**
変更を反映させて、ダイアログが閉じます。
- **[Cancel]ボタン**
変更を反映させずに、ダイアログが閉じます。

18. Tips

プロジェクトを作成するときに知っておくと便利なことを紹介します。

Q: 同じデザインのウィジェットを複数作りたい。

A: ① 1つのウィジェットを作成したあと、[Copy Appearance]で外観をコピーします。配置済のウィジェットを選択して[Paste Appearance]を実行します。

A: ② 1つのウィジェットを作成したあと、[Save as Style]でスタイルに登録します。新規のウィジェットは同じ外観で配置されます。また配置済のウィジェットを選択して、[Apply Style to Widgets]を実行すると配置済のウィジェットを同じ外観に変更することもできます。

Q: ウィジェットの大きさの目安はあるか？

A: タッチパネルで操作する場合には、対象のウィジェットを確実にタッチできること、かつタッチした状態でノブやボタンが指で全部隠れない程度の大きさにデザインしてみてください。

Q: スクリーンロックを時間経過ではなくボタン操作で行いたい。

A: 「Page Control Button」ウィジェットを配置して、「Properties」エリアの「Control」にある「Page Control Action」で[Screen Lock]を選択してください。

スクリーンロックしているときの画像は、「Setup」ダイアログのSecurityタブで設定してください。

Q: ワークエリアのグリッドを消したい。

A: ページのプロパティの[Dot Color]でAlpha値を0にしてください。

Q: 異なるサブネットの機器を操作したい。

A: 機器に登録するときに[Match Device by]リストボックスで[IP Address]を選択してIPアドレスを設定してください。

[Unit ID]で登録した機器をIPアドレスに変える場合は、「Devices」エリアで機器を選択し、「Properties」エリアの[Identifier]の「Value」をクリックして、「Edit Device Identifier」ダイアログで変更してください。

Q: タッチパネル式のコンピューターでKioskを運用する場合の注意事項は何かあるか？

A: Kioskをフルスクリーンで運用すると、キーボードを接続しないとコンピューターのシャットダウンなどの操作ができなくなります。どこかのページに[Page Control]ボタンウィジェットを配置して、「Properties」エリアの[Page Control Action]で[Close]を選択してください。そのボタンをタップするとコントローラーファイル読み込みの画面になり、Kioskを終了できるようになります。

また、スナップやシェイクなどの一部標準機能が動作しません。

Q: 複数のウィジェット(ボタンやスライダーなど)にアサインされたパラメーターのチャンネルを一括変更したい。

A: 選択したウィジェットのチャンネル数が同一のときは「Properties」エリアでチャンネルを一括変更できます。

19. 困ったときは

症状	原因	対応
オンラインにならない。	ネットワークインターフェースカードの選択が間違っている。	「Setup」ダイアログで機器とつながっているネットワークインターフェースカードを選択してください。
	ネットワークインターフェースカードの設定が間違っている。	スタートボタン右側の検索ボックスにncpa.cplと入力して、「ネットワーク接続」を開きます。システムに接続するネットワークインターフェースカードを右クリックして、[プロパティ]を選択して、IP/v4の設定が正しいことを確認してください。
	同時接続数の限度を超えた。	機器にはKioskやR Remoteなどが同時に接続できる数に限りがあります。
	機器に関する設定が間違っている。	機器の識別情報（Devicesエリアに表示されているデバイスの右横に表示されているIDまたはIP）がネットワーク上の機器と一致していることを確認してください。
フロート化したエリアがディスプレイに表示されない。	フロート化したエリアがディスプレイ表示領域の外に移動した。	[View]メニューの[Dock All]コマンドを実行してください。
「System Monitor」ウィンドウで稼働情報が表示されない。	「ProVisionaire Edge」が稼働しているコンピューターが同一ネットワーク内に3台以上接続されている。	同一ネットワーク内で「ProVisionaire Edge」が稼働しているコンピューターを2台以下にしてください。

© 2024 Yamaha Corporation

2026年2月 発行

YJ-B0